

第8章 豊かな心に影響を及ぼす学級人数はあるか ～全国学力・学習状況調査結果による検証～

全国学力・学習状況調査では、国語、算数・数学の教科の調査以外に、「児童生徒質問紙調査」を実施しているが、この調査は、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する内容を対象としている。

そこで、児童生徒質問紙調査におけるそれぞれの質問に対して、「肯定する」と回答した場合、それが学級人数と関連があるのかを検証していくこととする。検証に当たっては、第7章と同様、横軸に学級人数、縦軸に肯定した割合をとり、散布図を作成する。そして、学級人数を35人で分けたときの判別率、相関係数、度数分布の直接確率を求め、統計的に有意な差となっているのかを検定する。

(2) 学級人数との関連の検証

判別基準

「児童生徒質問紙」の質問内容を分類し、領域ごとまとめた結果を次頁以降報告する。

なお、学級人数を35人で分けたときの有意な差を判定するに当たっては、第7章における学力の面における検証と同様の手法とした。

しかし、ここで、学級人数を35人で分けると、平成20年度では、35人を超える小学校は2校だけと、数が少なく検証に適さない。また、同様に、中学校も10校と少なく検証には適さないので、平成19年度の小学校データで検証することとしている。

② 結果—学級人数と質問紙項目との関係—

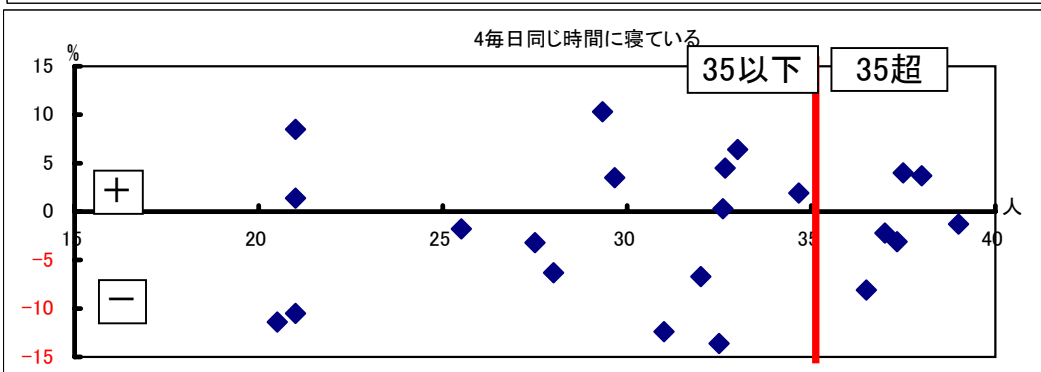
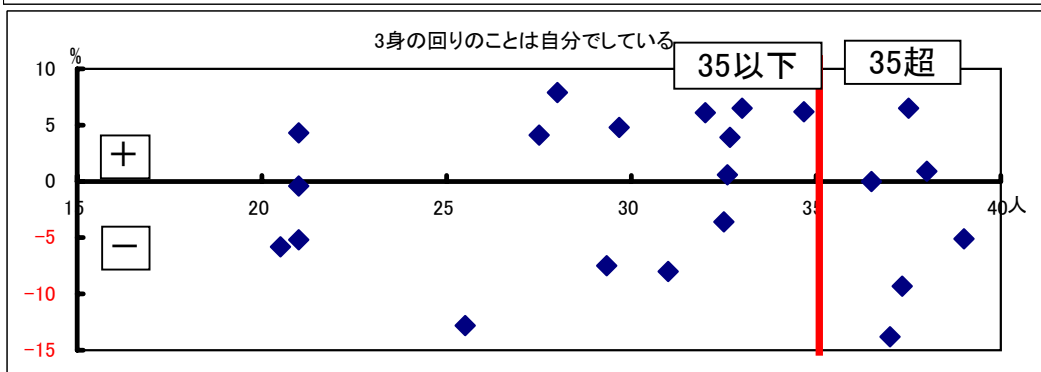
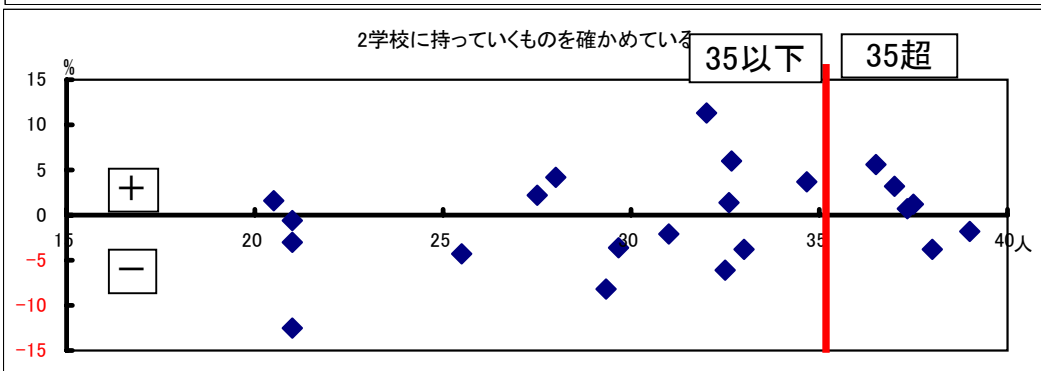
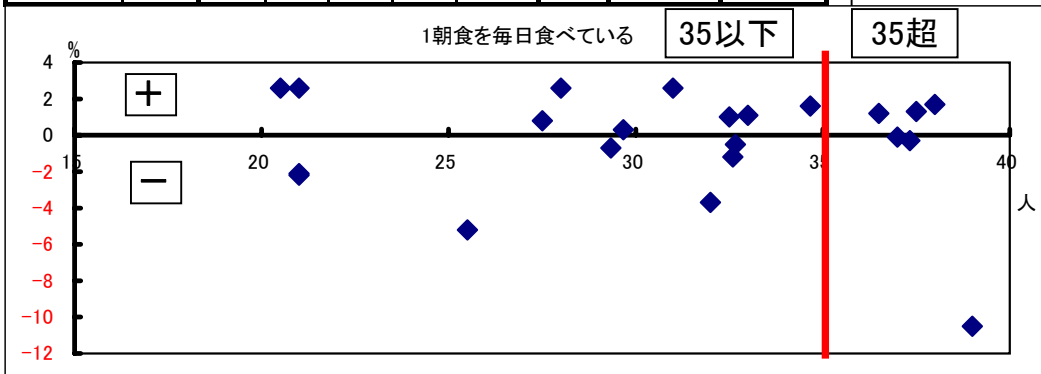
19年度 学級人数と質問紙項目との関係 「質問に対して『肯定』で検証」【基準：市平均】

【基本的生活習慣①】

問題	判別	判別点で分けたときの分布					判別率	分布確率	相関係数
		+	-	計	割合				
1朝食	+-						X=35	0.646	-0.13
	35以下	A	9	7	16	56.3%	54.5%	0.417	
	35超	B	3	3	6	50.0%			
2持ち物	+-						X=35	1.000	0.31
	35以下	A	7	9	16	43.8%	40.9%	0.682	
	35超	B	4	2	6	66.7%			
3身の回り	+-						X=35	0.655	0.02
	35以下	A	9	7	16	56.3%	54.5%	0.477	
	35超	B	3	3	6	50.0%			
4就寝時間	+-						X=35	1.000	0.12
	35以下	A	8	8	16	50.0%	54.5%	0.583	
	35超	B	2	4	6	33.3%			

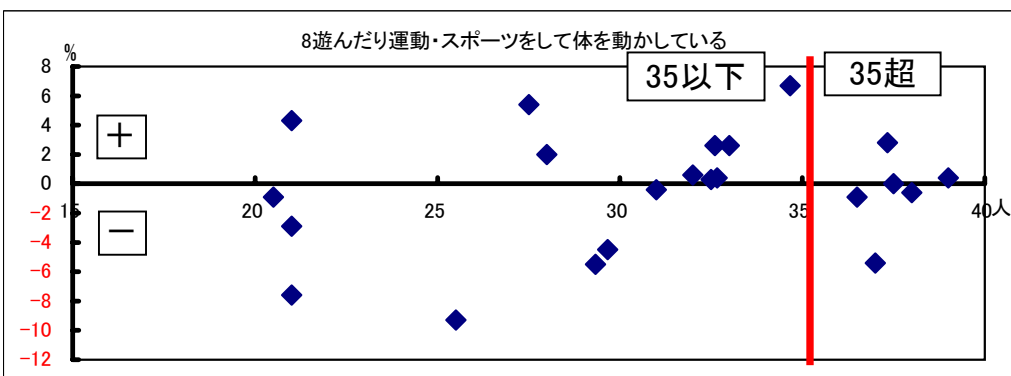
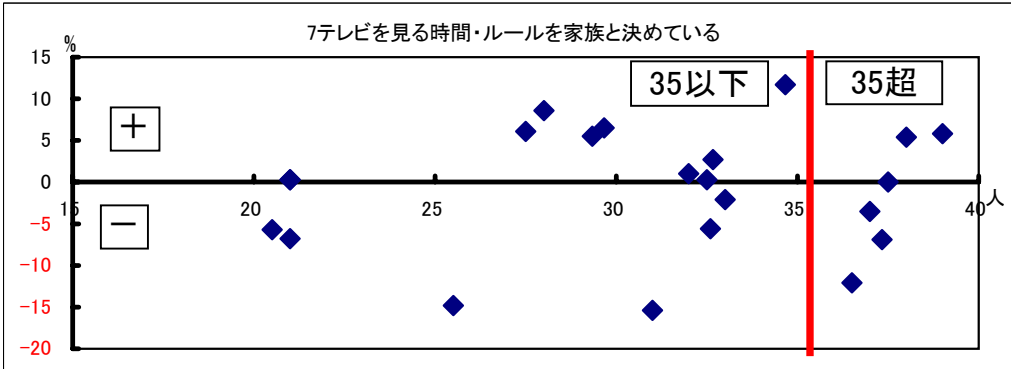
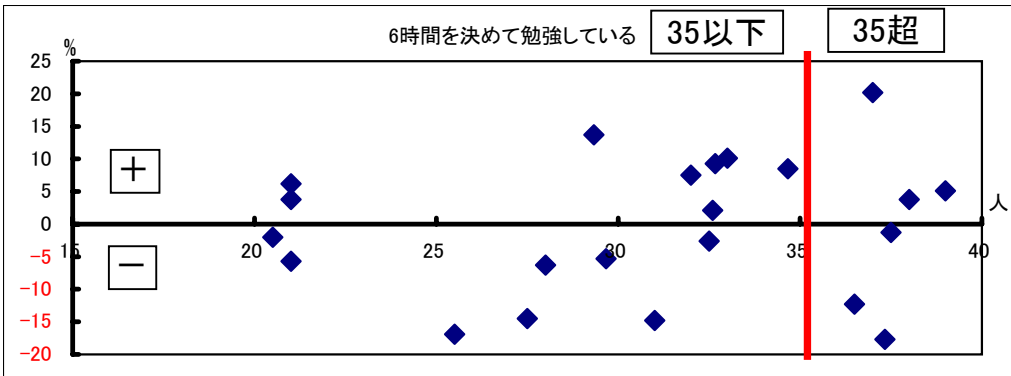
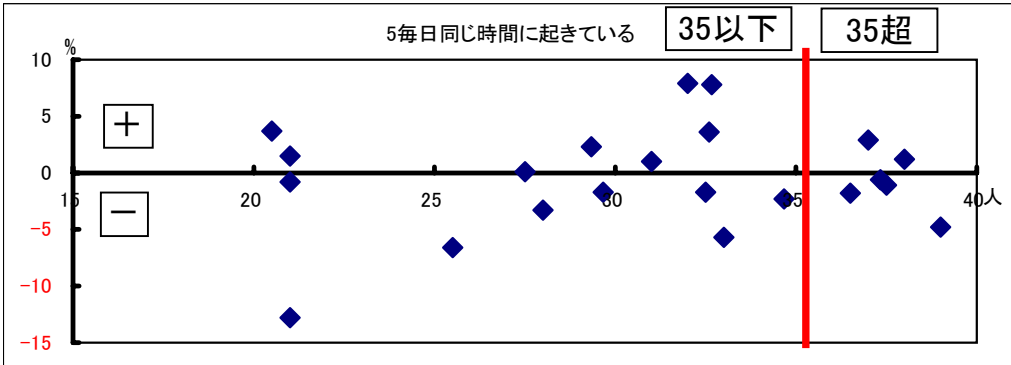
「基本的生活習慣」面での特徴

- ① 散布図では、35人を超えると「-（平均よりマイナス）」となるような偏りのある分布状況ではなく、学級人数が多くても少なくても「+」になったり、「-」になったりしていた。
 - ② 判別率は、概ね50%程度であった。
 - ③ それぞれの質問に対する回答分布の確率を求めると、統計的に有意な差はみられなかった。
 - ④ 相関係数も概ね0.1～0.3までで、高い相関とは言えなかった。
- 結論：「学級人数」が「基本的生活習慣」に影響を及ぼしているとは言えない。



【基本的生活習慣②】

問題	判別	判別点で分けたときの分布					判別率	分布確率	相関係数
	+-		+	-	計	割合	X=35		
5起床時間	35以下	A	8	8	16	50.0%	54.5%	0.229	0.16
	35超	B	2	4	6	33.3%			
6勉強時間	+-		+	-	計	割合	X=35	0.635	
	35以下	A	8	8	16	50.0%	50.0%	0.318	0.15
7テレビ	+-		+	-	計	割合	X=35	0.646	
	35以下	A	10	6	16	62.5%	59.1%	0.417	0.13
8運動	+-		+	-	計	割合	X=35	0.655	
	35以下	A	9	7	16	56.3%	54.5%	0.477	0.25
	35超	B	3	3	6	50.0%			



【自尊心・規範意識】

問題	判別	判別点で分けたときの分布					判別率	分布確率	相関係数
			+	-	計	割合	X=35		
9やりとげる	+-								
	35以下	A	10	6	16	62.5%	63.6%	0.162	0.18
	35超	B	2	4	6	33.3%	40.9%	0.119	
10挑戦	+-								
	35以下	A	7	9	16	43.8%	40.9%	1.000	0.48
	35超	B	4	2	6	66.7%	40.9%	0.583	
11よいところ	+-								
	35以下	A	8	8	16	50.0%	54.5%	1.000	0.03
	35超	B	2	4	6	33.3%	54.5%	0.583	
12夢	+-								
	35以下	A	10	6	16	62.5%	59.1%	0.624	0.33
	35超	B	3	3	6	50.0%	59.1%	0.369	

「自尊心・規範意識」面での特徴

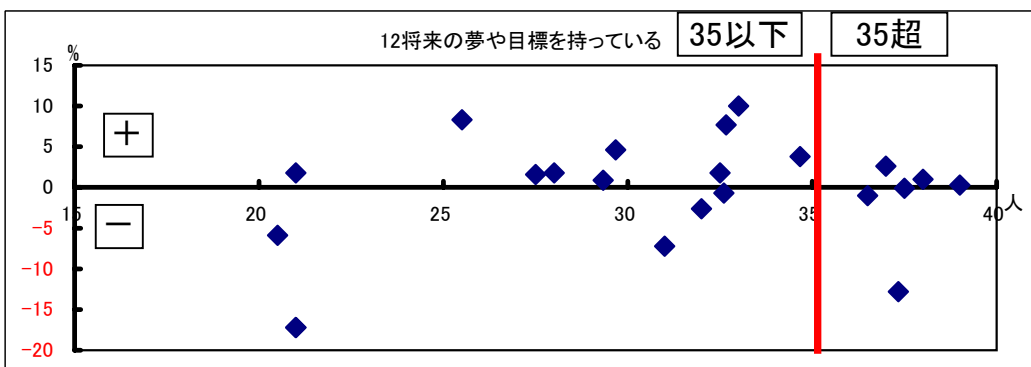
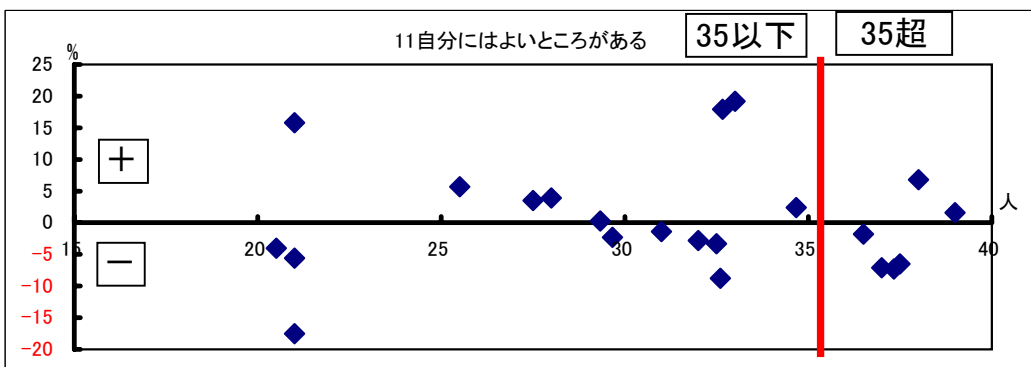
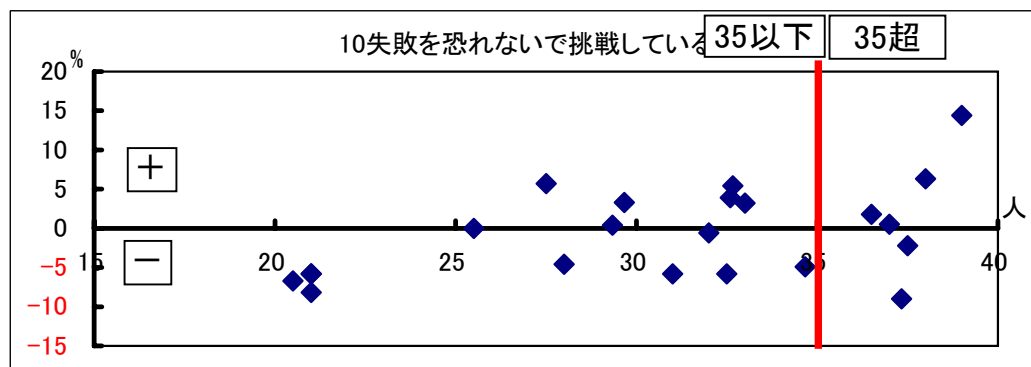
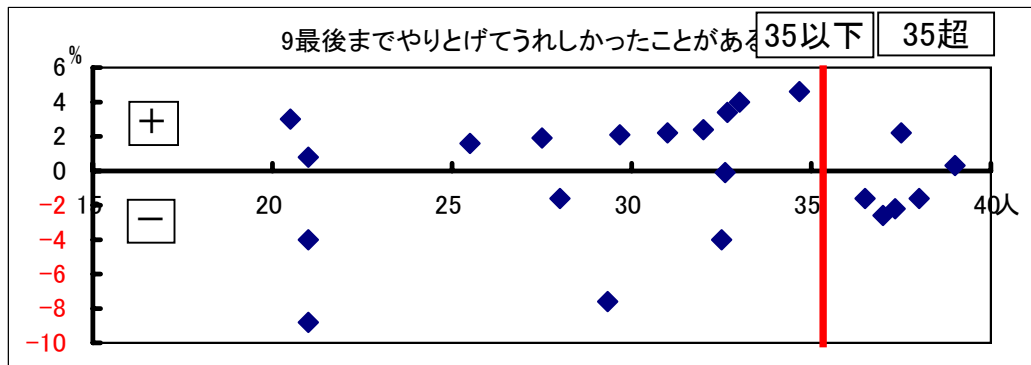
①散布図をみると、大きな偏りはみられなかった。

②判別率は概ね50%程度である。「9やりとげる」では35人以下で「+」、35を超えると「-」になる傾向がややみられた。

③分布度数では、統計的に有意な差はみられなかった。

④相関係数では、「10挑戦」において人数が多いほど、挑戦意欲がやや高い傾向がみられた。

結論:「学級人数」が「自尊心・規範意識」に大きな影響を及ぼしているとは言えない。

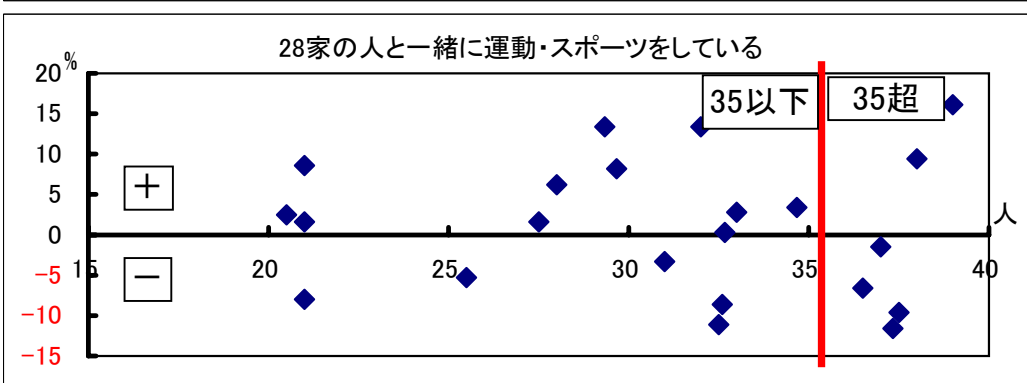
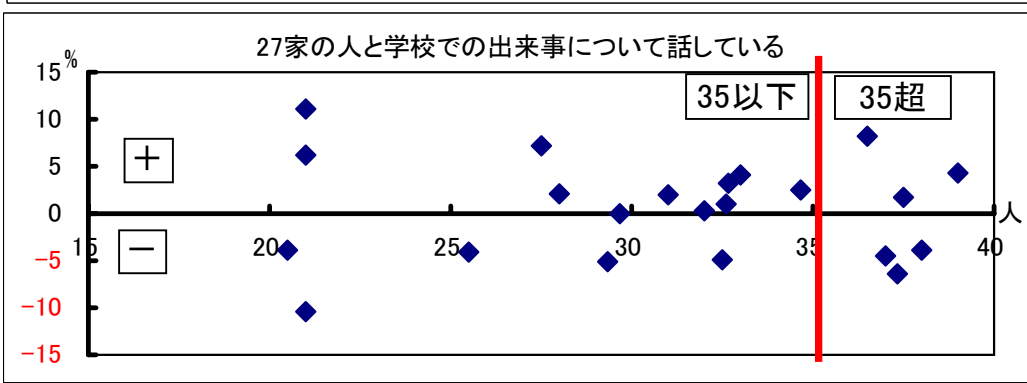
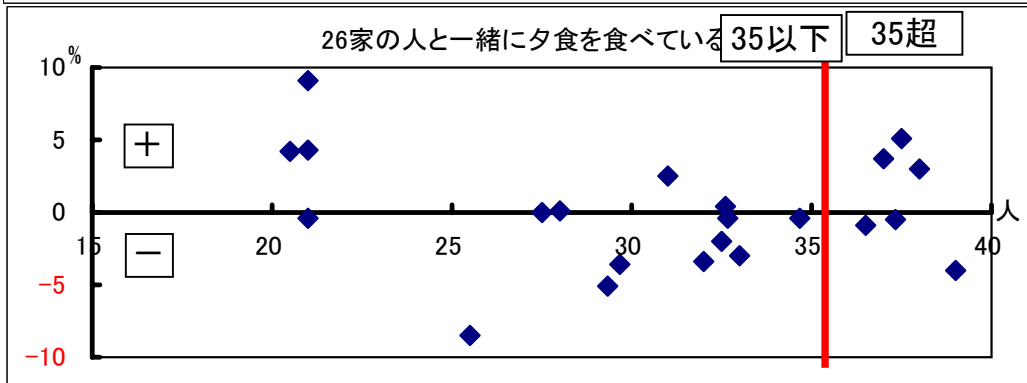
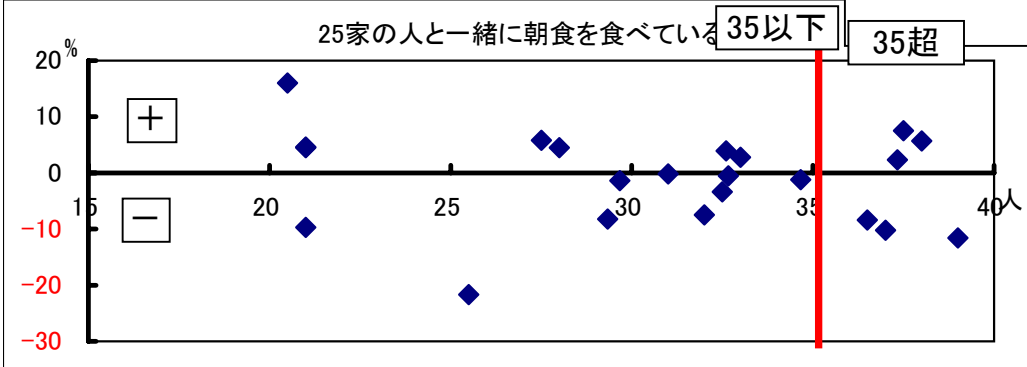


【家庭でのコミュニケーション】

問題	判別	判別点で分けたときの分布				判別率	分布確率	相関係数	
25家の人と朝食	+-		+	-	計	割合	X=35	1.000	-0.16
	35以下	A	7	9	16	43.8%	45.5%	0.583	
	35超	B	3	3	6	50.0%			
26家の人と夕食	+-		+	-	計	割合	X=35	0.655	-0.19
	35以下	A	7	9	16	43.8%	45.5%	0.477	
	35超	B	3	3	6	50.0%			
27出来事	+-		+	-	計	割合	X=35	0.624	-0.02
	35以下	A	11	5	16	68.8%	63.6%	0.369	
	35超	B	3	3	6	50.0%			
28家の人と運動	+-		+	-	計	割合	X=35	0.178	-0.05
	35以下	A	11	5	16	68.8%	68.2%	0.155	
	35超	B	2	4	6	33.3%	○		

「家庭でのコミュニケーション」面での特徴

- ① 散布図を見ると、20人を少し超えた人数において「+」になる傾向(3対1で+)がみられた。「28運動」で35人を超えると「-」になる傾向がみられた。
 - ② 判別率は家の人と食事では差がみられないが、会話や一緒に運動では、35人を超えると「マイナス」になる傾向がみられた。では35人以下で「+」、35を超えると「-」になる傾向がややみられた。
 - ③ 分布度数では、統計的に有意な差はみられなかった。
 - ④ 相関係数では、差がみられなかった。
- 結論: 大きな違いはみられないが、家の人と一緒に運動でやや違う傾向がみられた。



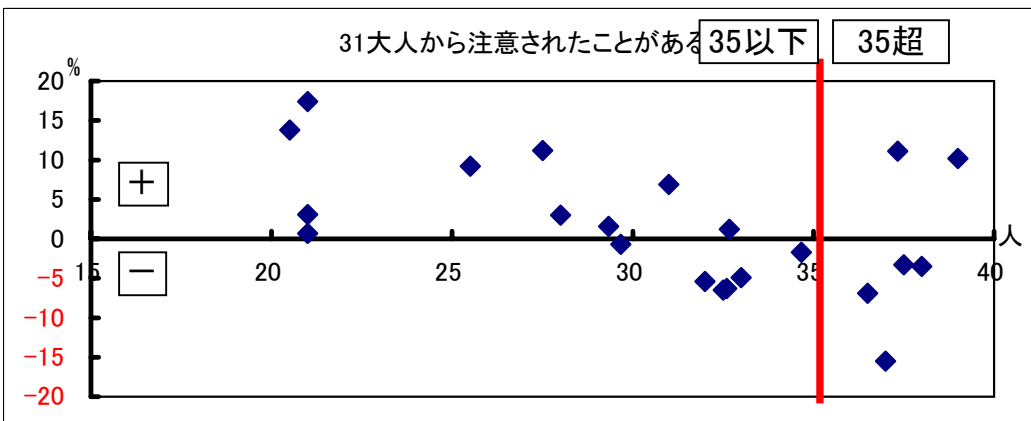
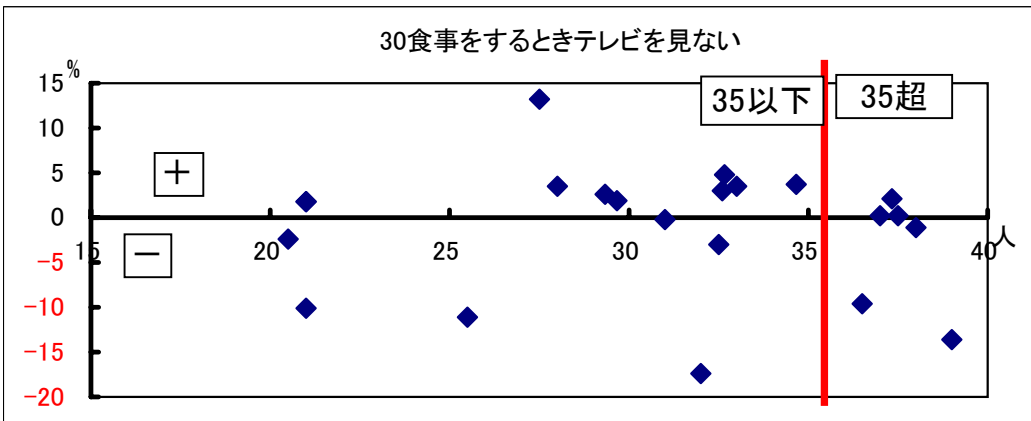
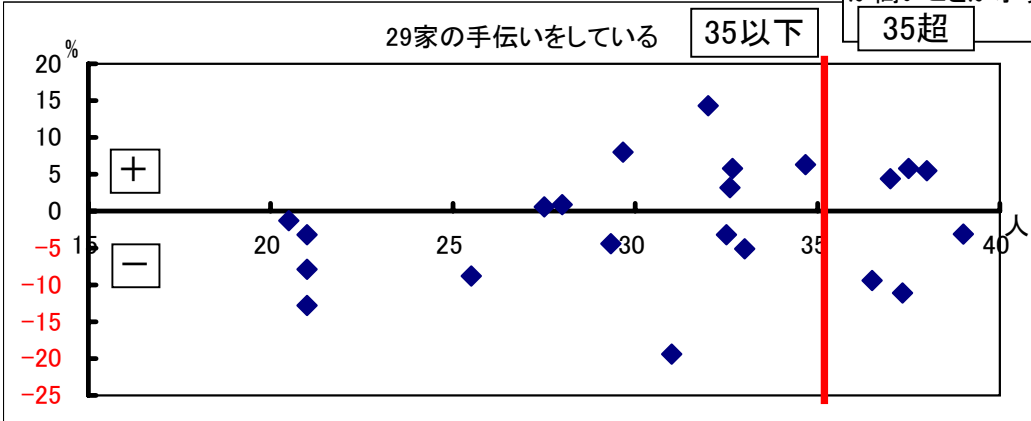
【家庭生活】

問題	判別	判別点で分けたときの分布				判別率	分布確率	相関係数	
29手伝い	+-		+	-	計	割合	X=35	1.000	0.28
	35以下	A	7	9	16	43.8%	45.5%	0.583	
	35超	B	3	3	6	50.0%			
30食事中テレビ	+-		+	-	計	割合	X=35	0.655	-0.07
	35以下	A	10	6	16	62.5%	59.1%	0.477	
	35超	B	3	3	6	50.0%			
31大人から注意	+-		+	-	計	割合	X=35	0.348	-0.50
	35以下	A	10	6	16	0.63	63.6%	0.229	
	35超	B	2	4	6	0.33			

「家庭生活」面での特徴

○家庭生活全体では、大きな偏りはみられなかったが、「31大人から注意」は、29人より少ないと「+」となっていた。一方、「29手伝い」は27人より少ないと「-」になっていた。35人を超えた人数では差がみられなかった。特に、「31大人から注意」において、学級人数が少ない方が、注意されたと回答し、相関(係数-0.5)もあった。

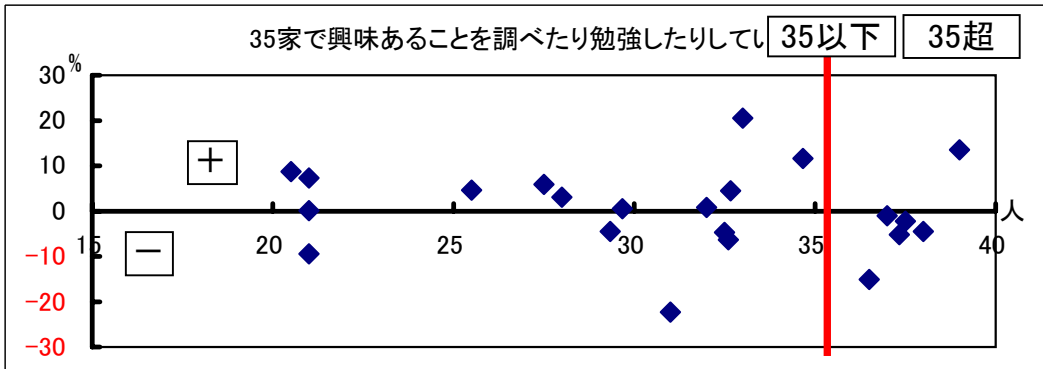
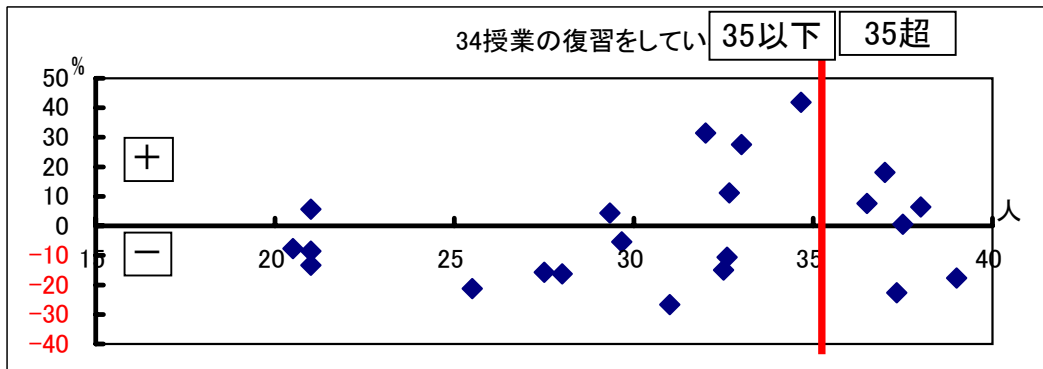
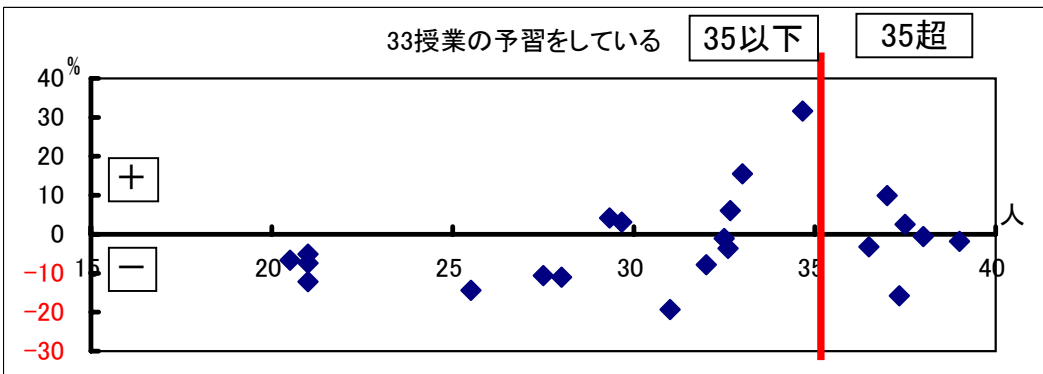
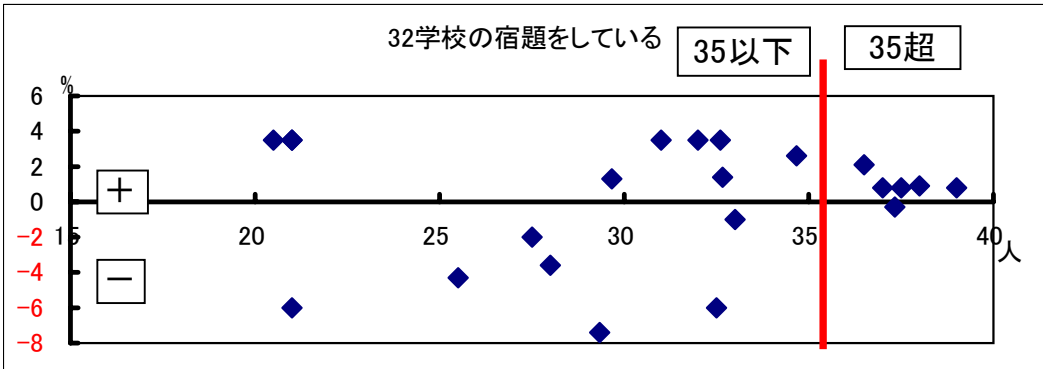
結論: 全体的にみれば差はみられないが、質問項目でみると、「31大人から注意」にやや差がみられた。これは、学級人数が少ない学校の地域の方が、地域の子を共に育てるという意識が高いことが示唆される。



【家庭学習】

問題	判別	判別点で分けたときの分布					判別率	分布確率	相関係数
32宿題	+-		+	-	計	割合	X=35	0.351	0.11
	35以下	A	9	7	16	0.56	45.5%	0.255	
	35超	B	5	1	6	0.83			
33予習	+-		+	-	計	割合	X=35	1.000	0.37
	35以下	A	5	11	16	0.31	40.9%	0.651	
	35超	B	2	4	6	0.33			
34復習	+-		+	-	計	割合	X=35	0.348	0.25
	35以下	A	6	10	16	0.38	36.4%	0.229	
	35超	B	4	2	6	0.67			
35家で調べる	+-		+	-	計	割合	X=35	0.056	-0.09
	35以下	A	11	5	16	0.69	72.7%	0.043	
	35超	B	1	5	6	0.17	○	◎	

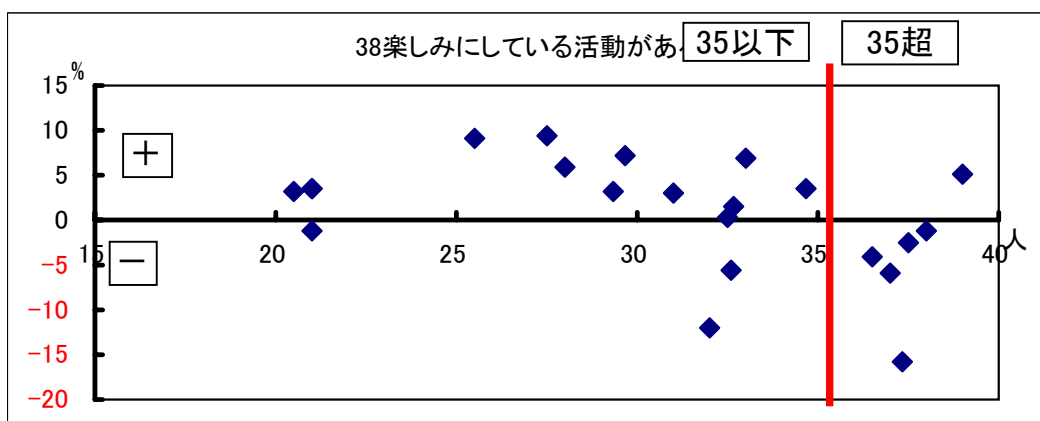
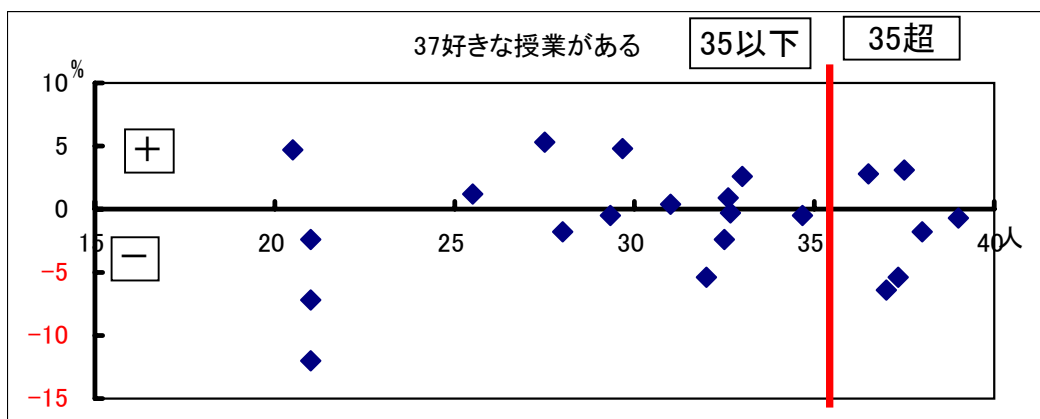
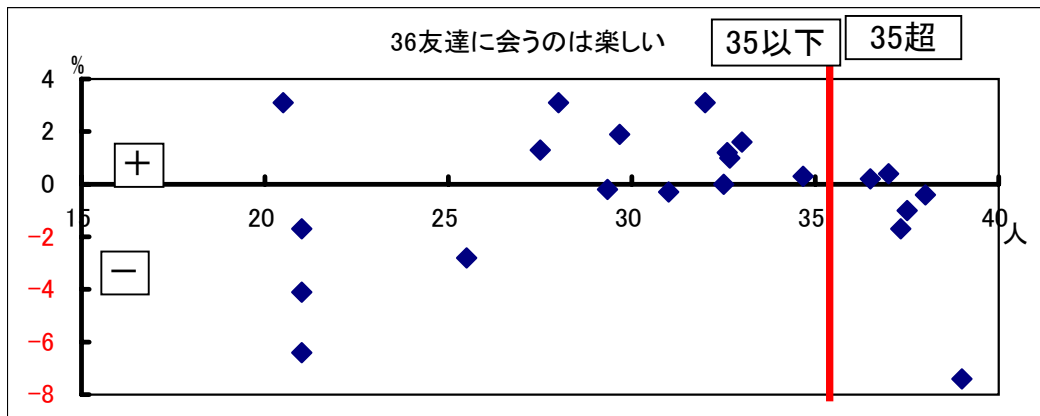
「家庭学習」面での特徴
 ① 散布図を個々にみていくと、特徴的な傾向がみられた。「32宿題」は、30人を超えると「プラス」になる傾向があり、「33予習」「34復習」の分布傾向が類似し、35人を境にして正規分布型曲線を描いていた。「35家で調べる」では、35人を超えると「-」の傾向を示した。
 ②③ 判別率・分布確率では、「35家で調べる」において5%水準程度の差がみられた。
 結論：家庭学習で学校の宿題や予習、復習をしているかについては、大きな差がみられなかった。一方、興味に基づいた自発的な調べ学習では、35人を超えると「-」になる傾向がみられた。



【学校生活】

問題	判別	判別点で分けたときの分布					判別率	分布確率	相関係数
36友達	+-		+	-	計	割合	X=35	0.635	0.06
	35以下	A	9	7	16	0.56	59.1%	0.318	
	35超	B	2	4	6	0.33			
37好きな授業	+-		+	-	計	割合	X=35	1.000	0.14
	35以下	A	7	9	16	0.44	50.0%	0.523	
	35超	B	2	4	6	0.33			
38楽しみ	+-		+	-	計	割合	X=35	0.011	-0.42
	35以下	A	13	3	16	0.81	81.8%	0.011	
	35超	B	1	5	6	0.17	◎	◎	

「学校生活」面での特徴
 ○「38楽しみにしている活動がある」に対して、判別率、分布の確率、相関係数等に統計的に有意な差がみられた。(35人を境にして、35人を超えると、「-」になる傾向がみられた。)「36友達」「37好きな授業」では差がみられなかった。



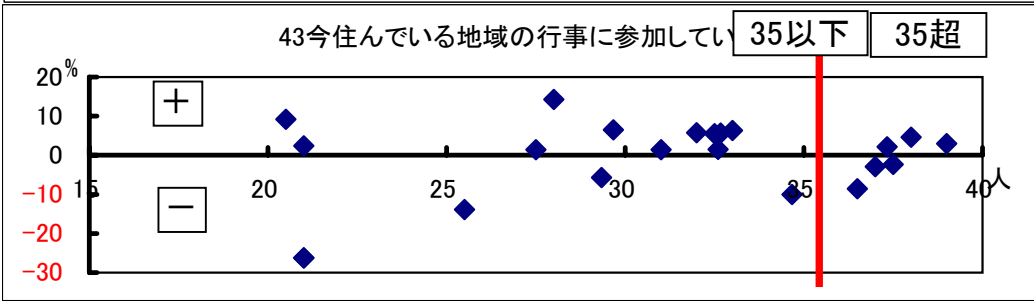
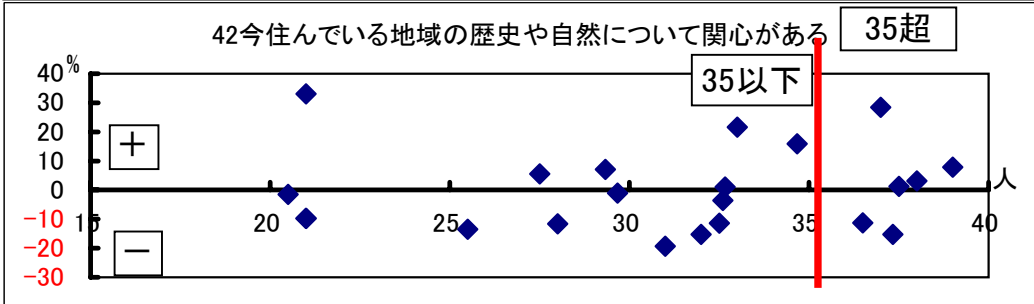
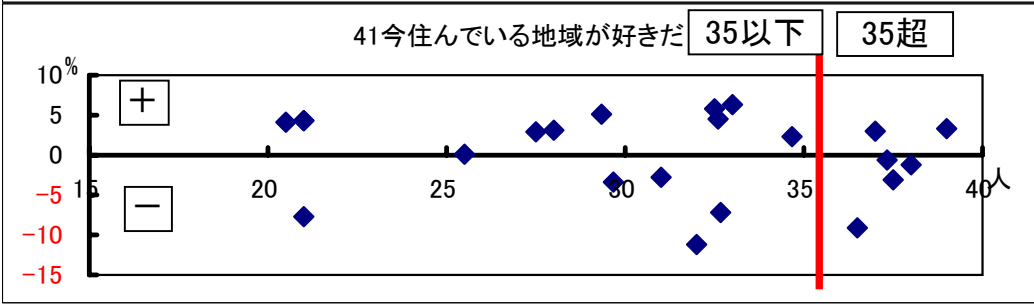
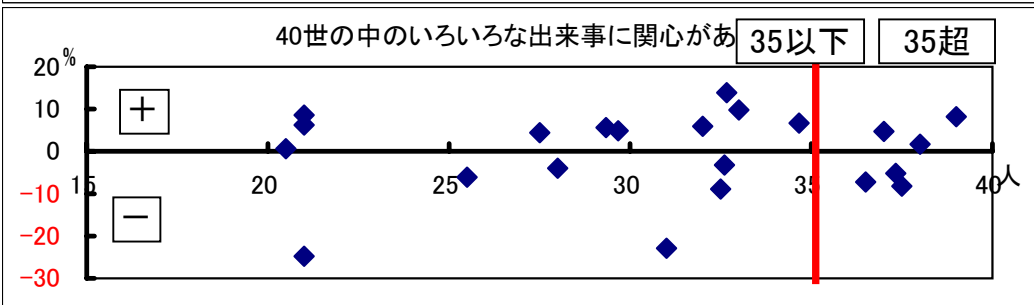
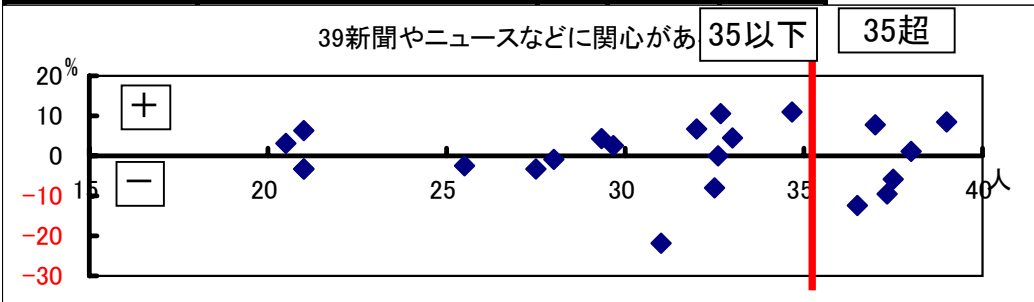
【社会に対する興味・関心】

問題	判別	判別点で分けたときの分布					判別率	分布確率	相関係数
		+	-	計	割合				
39ニュース	+-						X=35	1.000	0.00
	35以下	A	9	7	16	0.56	54.5%	0.583	
	35超	B	3	3	6	0.50			
40出来事	+-						X=35	0.655	0.11
	35以下	A	10	6	16	0.63	59.1%	0.477	
	35超	B	3	3	6	0.50			
41地域が好き	+-						X=35	0.178	-0.15
	35以下	A	11	5	16	0.69	68.2%	0.155	
	35超	B	2	4	6	0.33	○		
42歴史自然	+-						X=35	0.348	0.07
	35以下	A	6	10	16	0.38	36.4%	0.229	
	35超	B	4	2	6	0.67	63.6%		
43行事参加	+-						X=35	0.624	0.32
	35以下	A	11	5	16	0.69	63.6%	0.369	
	35超	B	3	3	6	0.50			

「社会に対する興味・関心」面での特徴

- ① 散布図をみると、大きな差がみられなかった。
- ② 判別率では、「今住んでいる地域」に関する質問にやや差がある傾向がみられた。特に、「41地域が好き」で有意傾向がみられた。
- ③ 分布確率は、差がみられなかった。
- ④ 相関係数も有意な数値ではなかった。

結論:「社会に対する興味・関心」は、学級人数と関係があるとは言えない。「地域が好き」で35人を境にしたときに、やや差がみられる傾向となっていた。

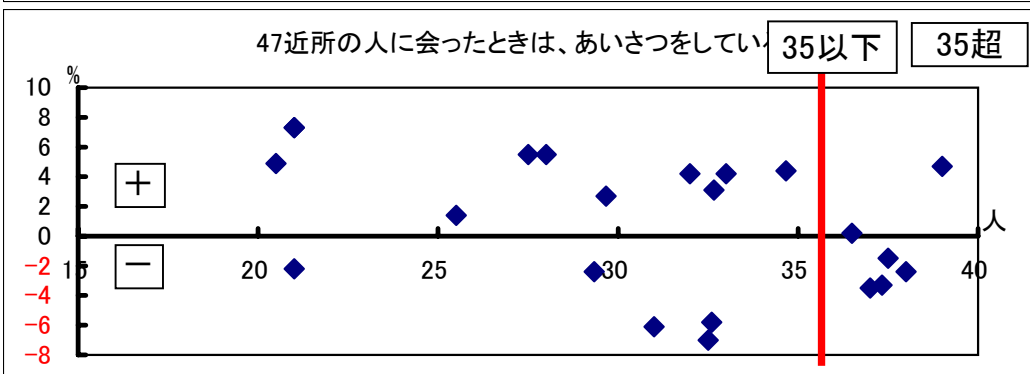
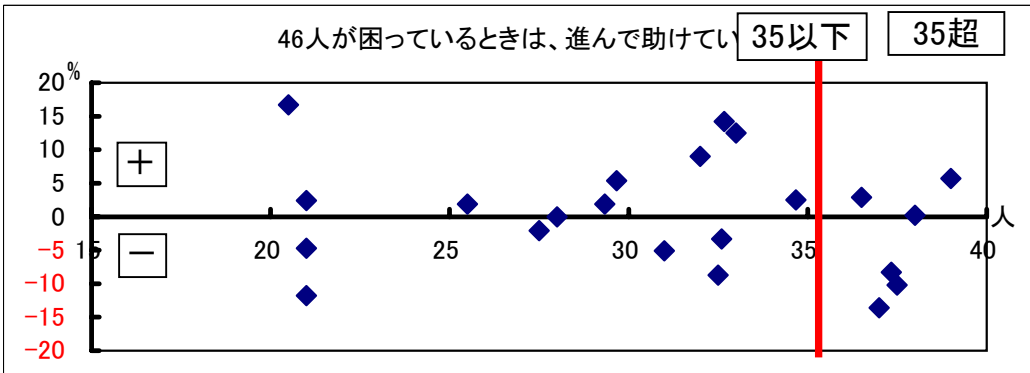
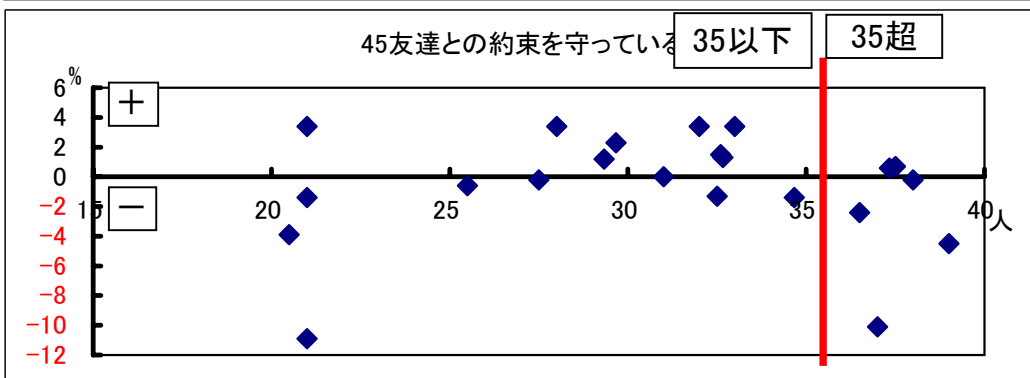
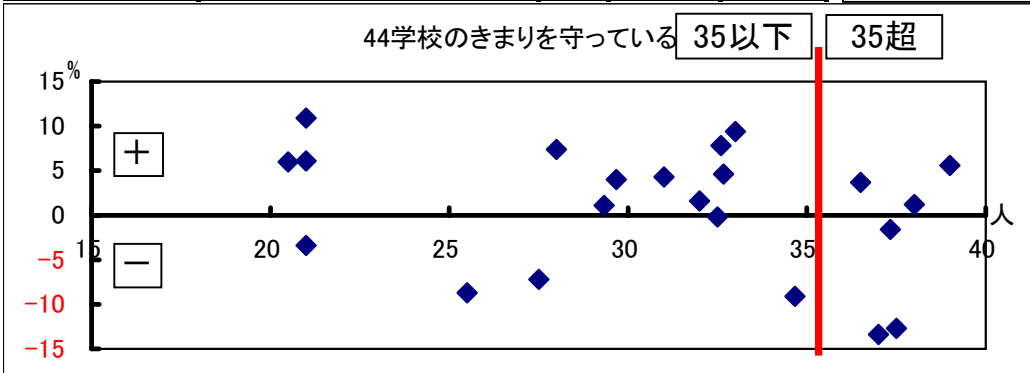


【道徳的規範①】

問題	判別	判別点で分けたときの分布					判別率	分布確率	相関係数
44きまり	+-		+	-	計	割合	X=35	0.624	-0.27
	35以下	A	11	5	16	0.69	63.6%	0.369	
	35超	B	3	3	6	0.50			
45約束	+-		+	-	計	割合	X=35	0.635	0.04
	35以下	A	9	7	16	0.56	59.1%	0.318	
	35超	B	2	4	6	0.33			
46助ける	+-		+	-	計	割合	X=35	0.655	-0.13
	35以下	A	10	6	16	0.63	59.1%	0.477	
	35超	B	3	3	6	0.50			
47あいさつ	+-		+	-	計	割合	X=35	0.178	-0.40
	35以下	A	11	5	16	0.69	68.2%	0.155	
	35超	B	2	4	6	0.33			

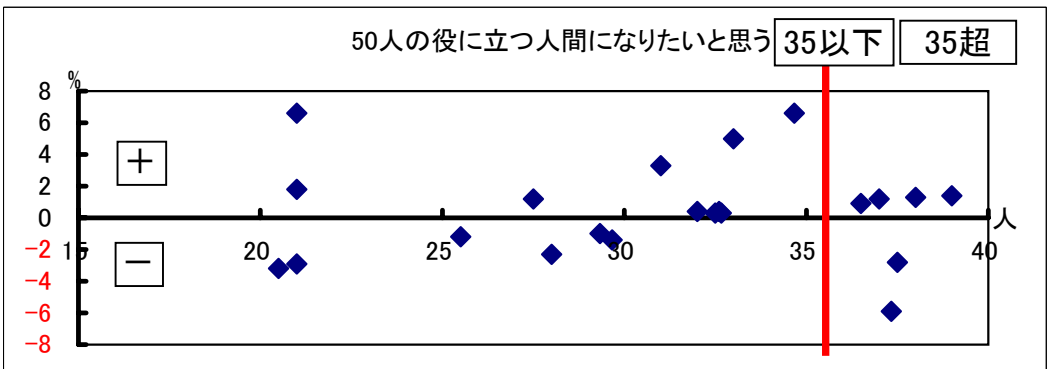
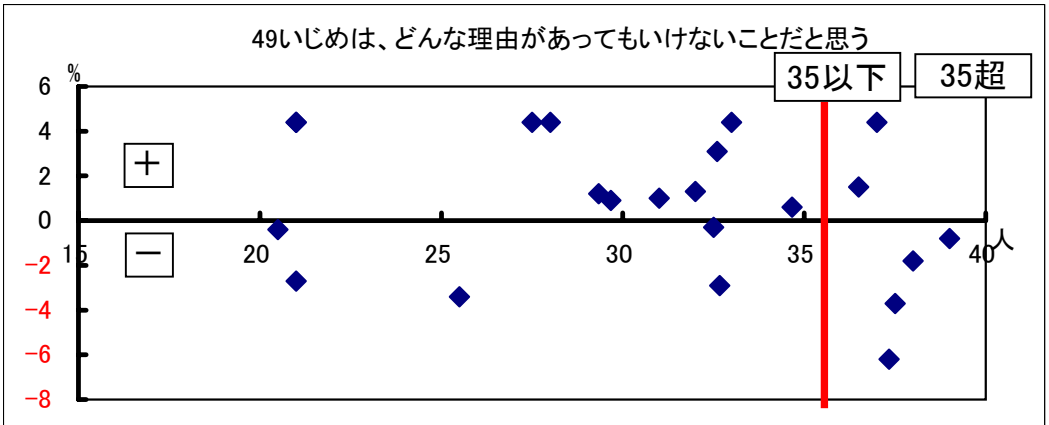
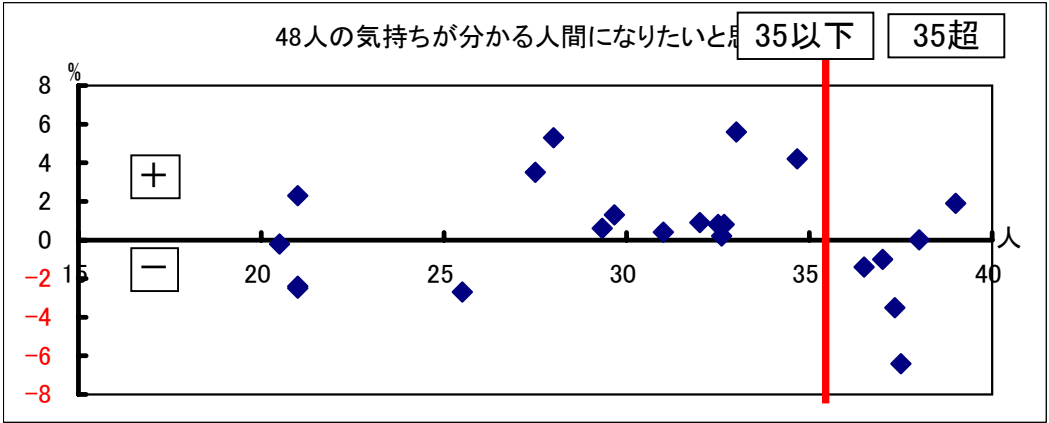
「道徳的規範」面での特徴

- ① 散布図を全体的にみると、大きな差はみられなかった。
 - ② 判別率を個々の質問でみると、「47あいさつ」「48人の気持ち」「49いじめ」で、35人を境に、35を超えると「-」になる傾向がややみられた。
 - ③ 分布度数では、統計的に有意な差はみられなかった。
 - ④ 相関係数では、大きな差がみられなかった。
- 結論：大きな違いはみられないが、「47あいさつ」「48人の気持ち」「49いじめ」等、他者に対するやさしさや配慮に関する項目で、有意傾向がみられた。



【道徳的規範②】

問題	判別	判別点で分けたときの分布				判別率	分布確率	相関係数	
48人の気持ち	+-		+	-	計	割合	X=35	0.137	-0.05
	35以下	A	12	4	16	0.75	72.7%	0.096	
	35超	B	2	4	6	0.33	○	○	
49いじめ	+-		+	-	計	割合	X=35	0.178	-0.26
	35以下	A	11	5	16	0.69	68.2%	0.155	
	35超	B	2	4	6	0.33	○	○	
50役に立つ	+-		+	-	計	割合	X=35	1.000	0.02
	35以下	A	10	6	16	0.63	54.5%	0.631	
	35超	B	4	2	6	0.67			

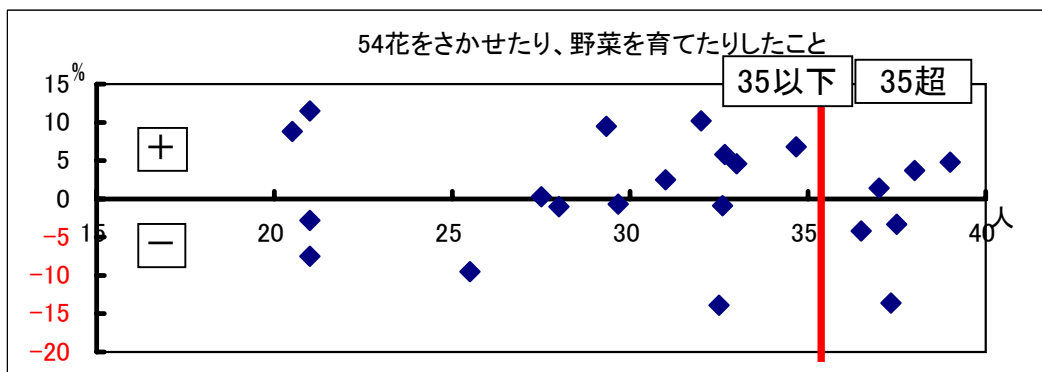
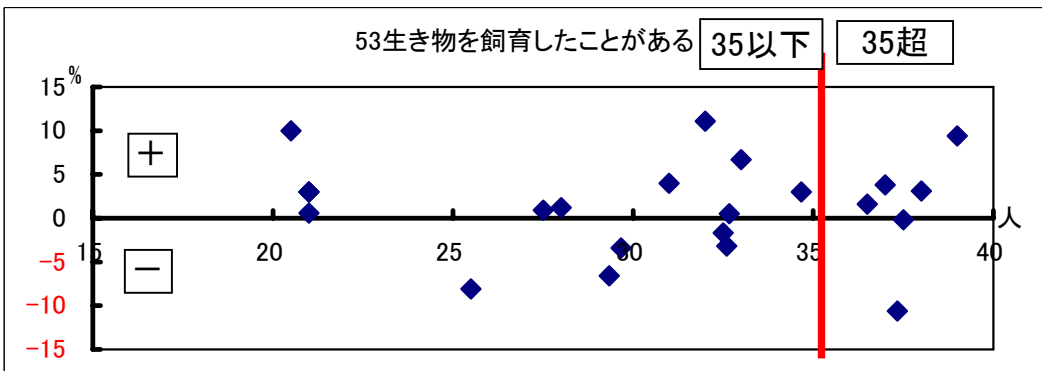
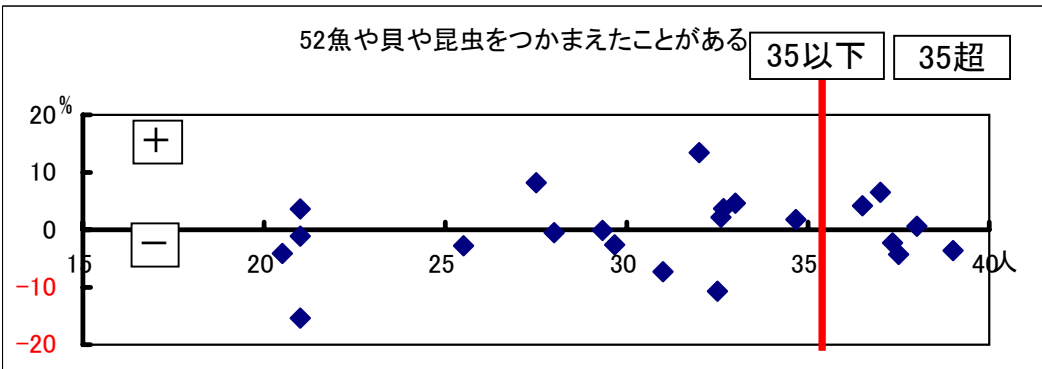
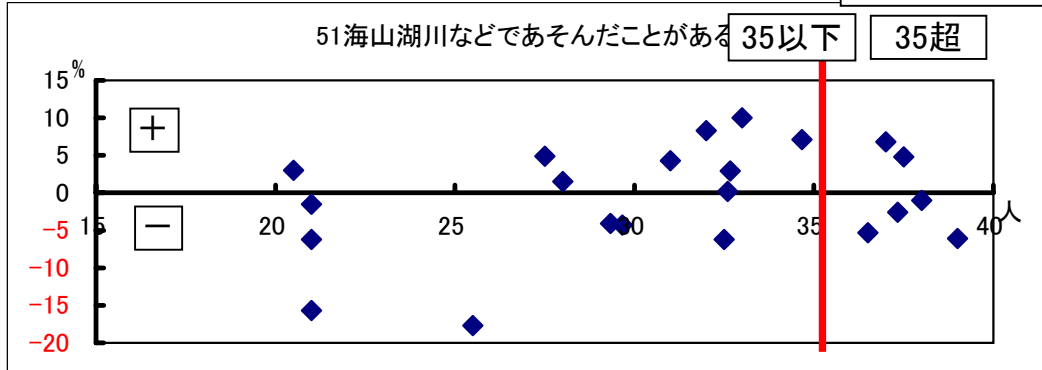


【体験①】

問題	判別	判別点で分けたときの分布					判別率	分布確率	相関係数
51海山川	+-		+	-	計	割合	X=35	0.635	0.34
	35以下	A	9	7	16	0.56	59.1%	0.318	
	35超	B	2	4	6	0.33			
52魚貝虫	+-		+	-	計	割合	X=35	1.000	0.23
	35以下	A	7	9	16	0.44	45.5%	0.583	
	35超	B	3	3	6	0.50			
53飼育	+-		+	-	計	割合	X=35	1.000	-0.03
	35以下	A	11	5	16	0.69	59.1%	0.651	
	35超	B	4	2	6	0.67			
54花野菜	+-		+	-	計	割合	X=35	1.000	-0.10
	35以下	A	9	7	16	0.56	54.5%	0.583	
	35超	B	3	3	6	0.50			

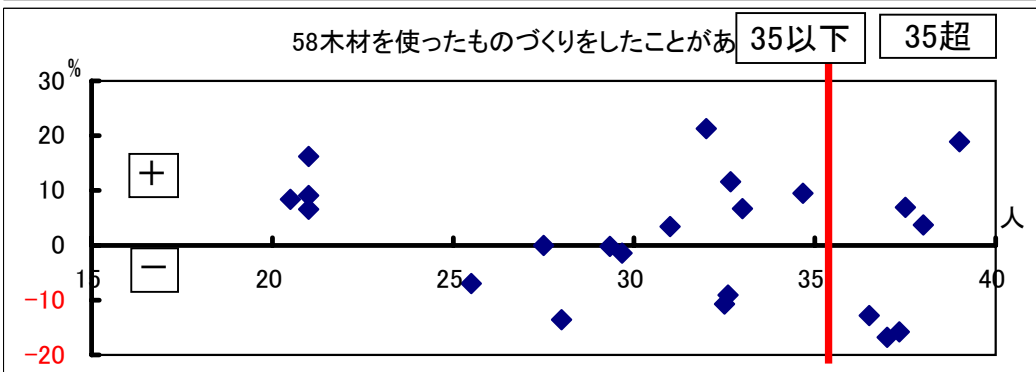
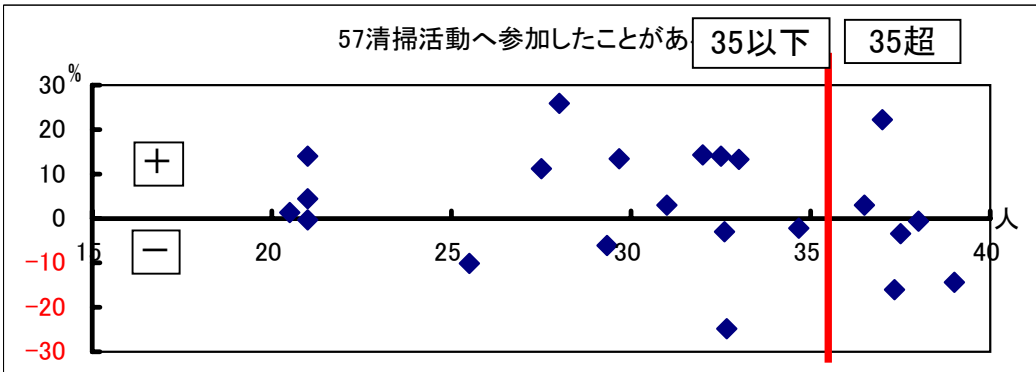
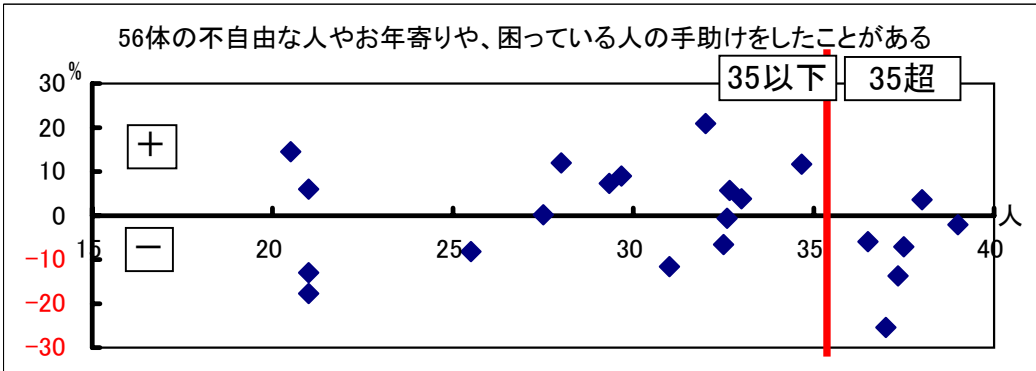
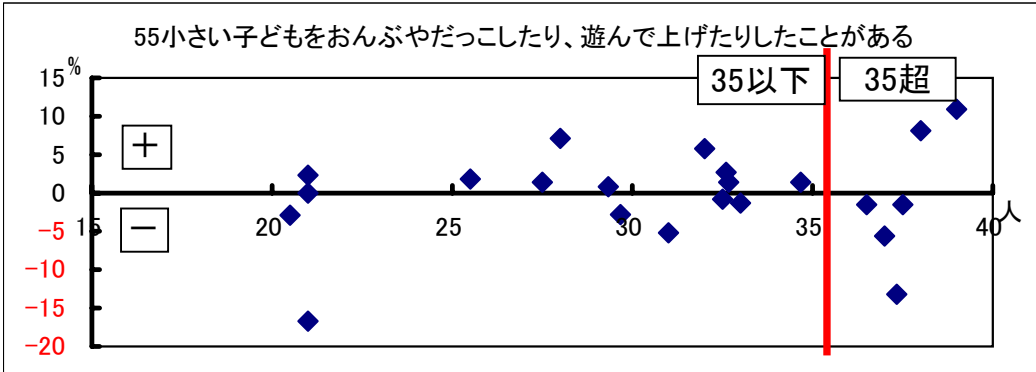
「体験」面での特徴

① 散布図を全体的にみると、大きな差はみられなかった。
 ②③ 判別率は、大きな差がみられなかった。個々では、「56困っている人の手助けをしたことがある」に有意傾向がみられた。この傾向は、分布度数でも同様であった。
 ④ 相関係数では、大きな差がみられなかった。
 結論:「体験」面全体では、大きな違いはみられないが、「56困っている人の手助け」の経験に有意な差の傾向がみられた。これは、他者への配慮に関する体験である。他者への配慮に関連のある「55小さい子どもと遊ぶ」「57清掃活動」でも、ややその傾向がみられる。



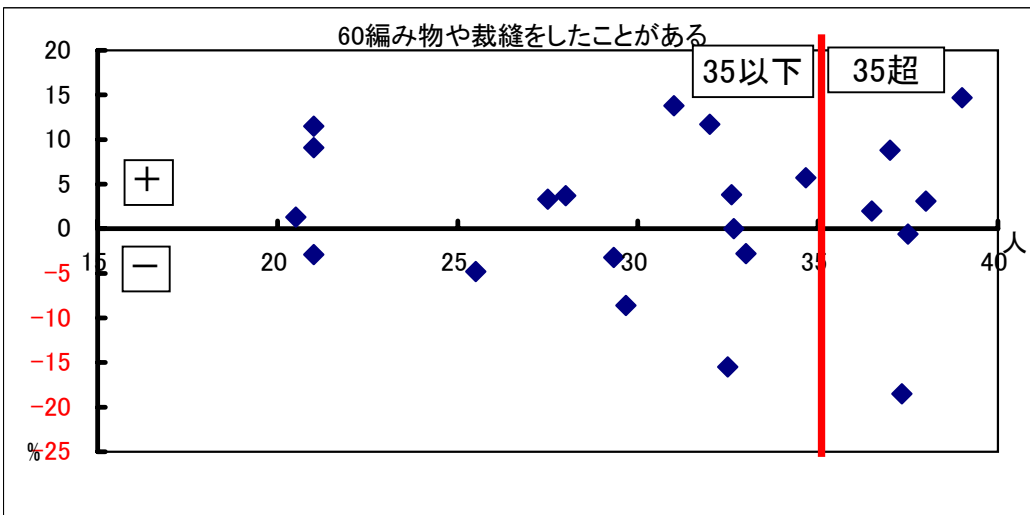
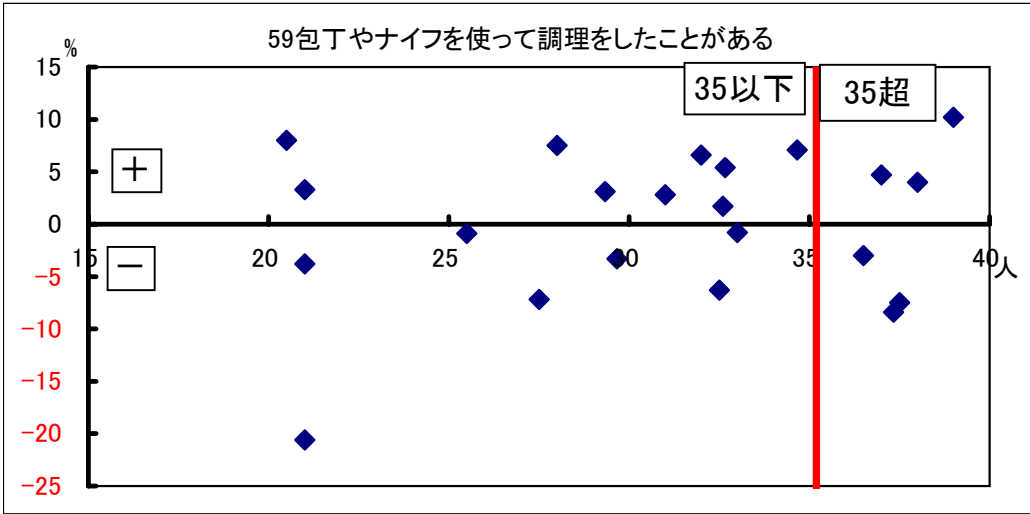
【体験②】

問題	判別	判別点で分けたときの分布					判別率	分布確率	相関係数	
	+-		+	-	計	割合	X=35			
55小さい子	56.0	35以下	A	10	6	16	0.63	63.6%	0.229	0.21
		35超	B	2	4	6	0.33			
56困っている	+-		+	-	計	割合	X=35	0.149	-0.11	
		35以下	A	10	6	16	0.63	68.2%		0.074
		35超	B	1	5	6	0.17	○	○	
57清掃	+-		+	-	計	割合	X=35	0.348	-0.21	
		35以下	A	10	6	16	0.63	63.6%		0.229
		35超	B	2	4	6	0.33			
58物作り	+-		+	-	計	割合	X=35	0.655	-0.22	
		35以下	A	10	6	16	0.63	59.1%		0.477
		35超	B	3	3	6	0.50			



【体験③】

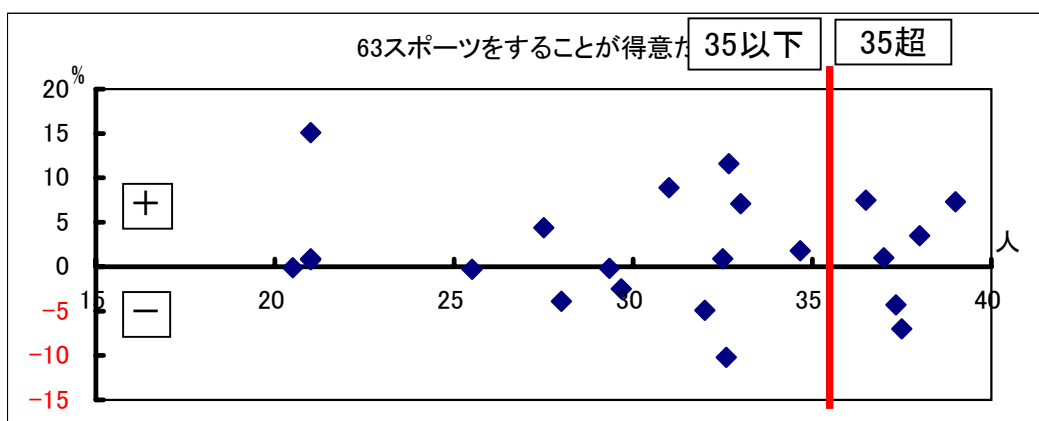
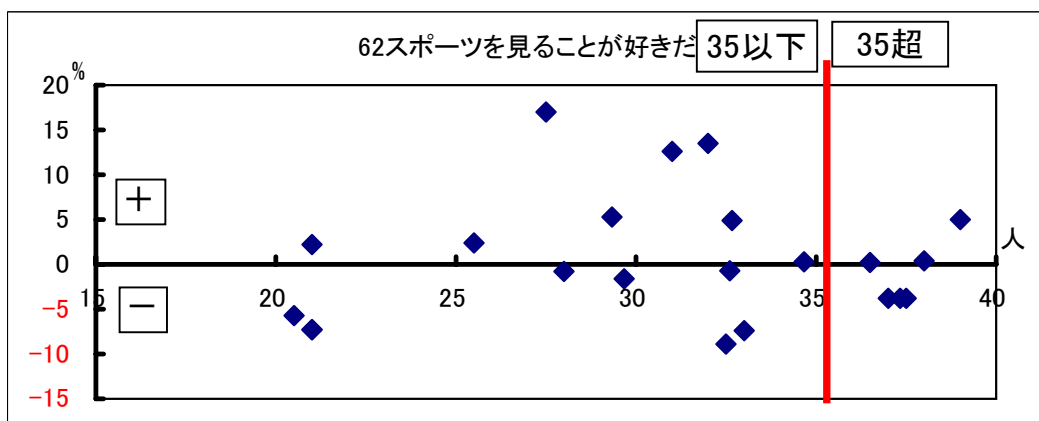
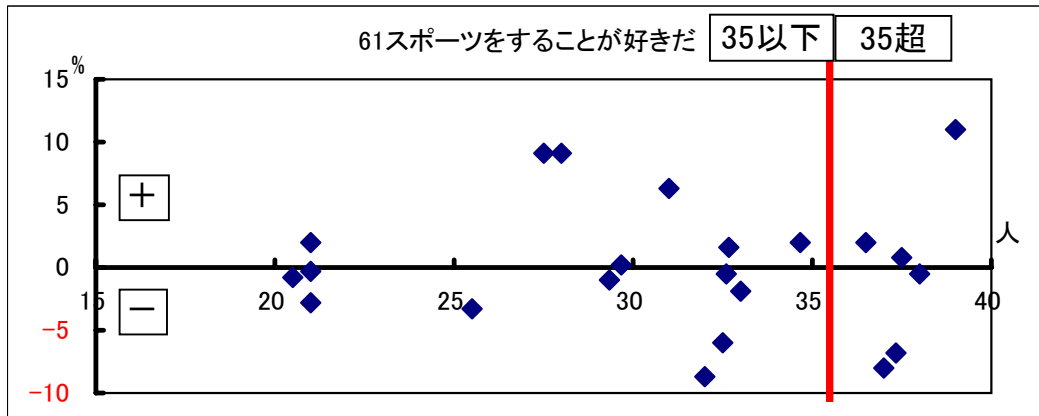
問題	判別	判別点で分けたときの分布					判別率	分布確率	相関係数
59調理	+-		+	-	計	割合	X=35	1.000	0.21
	35以下	A	9	7	16	0.56	54.5%	0.583	
	35超	B	3	3	6	0.50			
60裁縫	+-		+	-	計	割合	X=35	1.000	-0.06
	35以下	A	10	6	16	0.63	54.5%	0.631	
	35超	B	4	2	6	0.67			



【スポーツに対する関心・意欲・態度】

問題	判別	判別点で分けたときの分布					判別率	分布確率	相関係数
	+-		+	-	計	割合	X=35	1.000	
61スポーツする	35以下	A	7	9	16	0.44	45.5%	0.583	-0.03
	35超	B	3	3	6	0.50			
62スポーツ見る	+-		+	-	計	割合	X=35	1.000	
	35以下	A	8	8	16	0.50	50.0%	0.682	0.09
35超	B	3	3	6	0.50				
63スポーツ得意	+-		+	-	計	割合	X=35	1.000	
	35以下	A	9	7	16	0.56	50.0%	0.523	-0.10
35超	B	4	2	6	0.67				

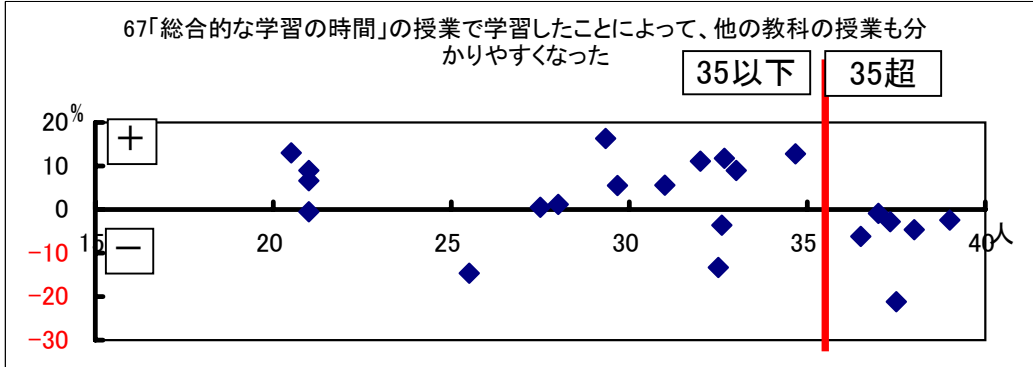
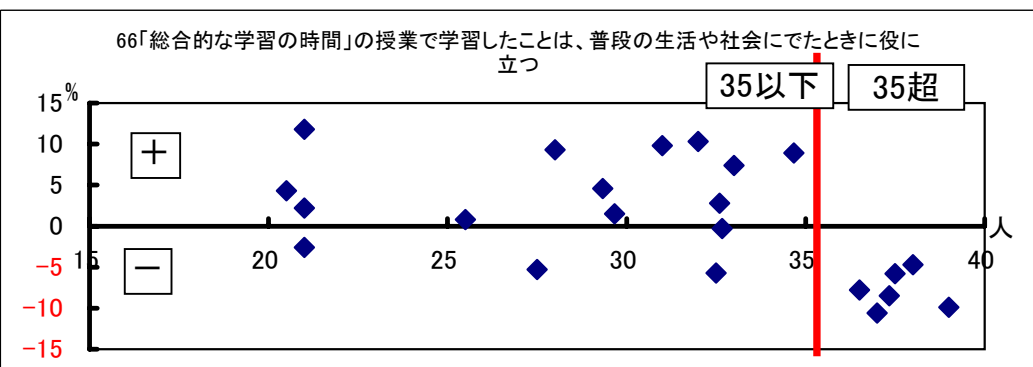
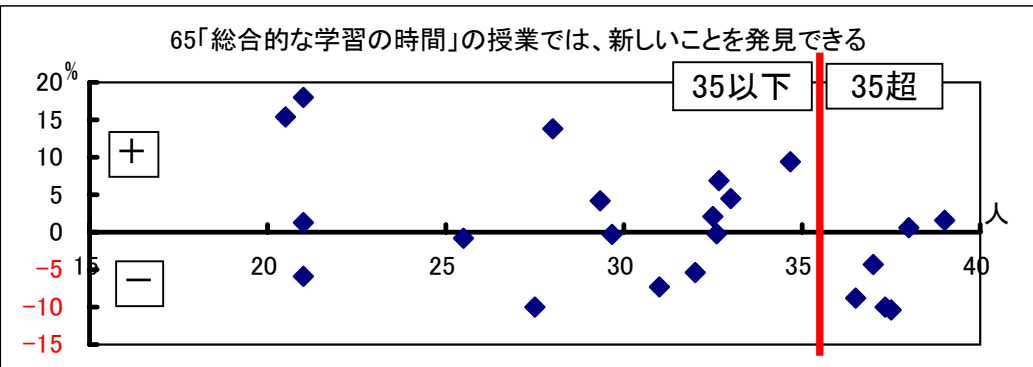
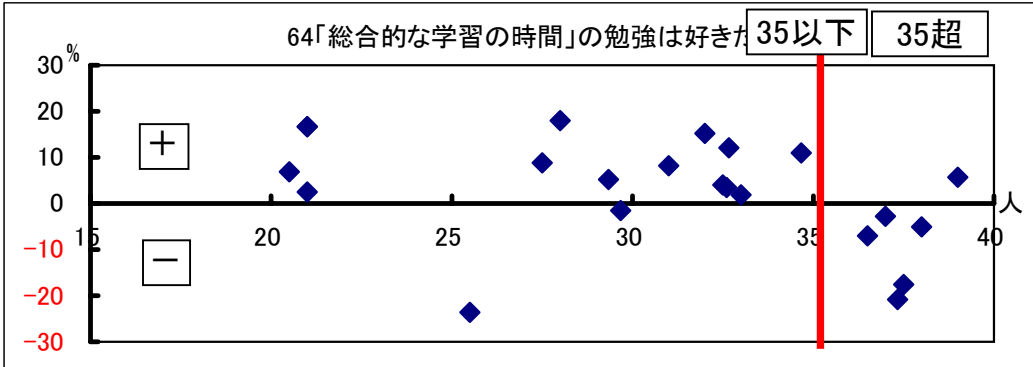
「スポーツに対する関心・意欲・態度」面での特徴
 ○3つの質問共に、分布状況、判別率、分布確率、相関係数、いずれにも差がみられなかった。



【総合的な学習の時間に対する関心・意欲・態度】

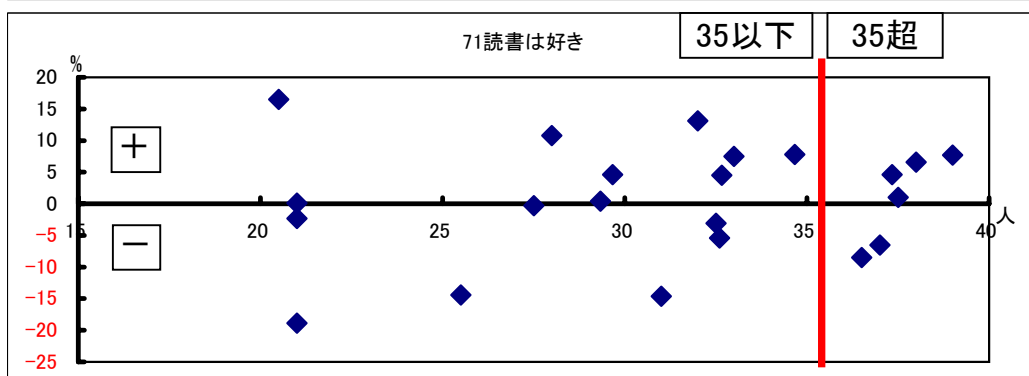
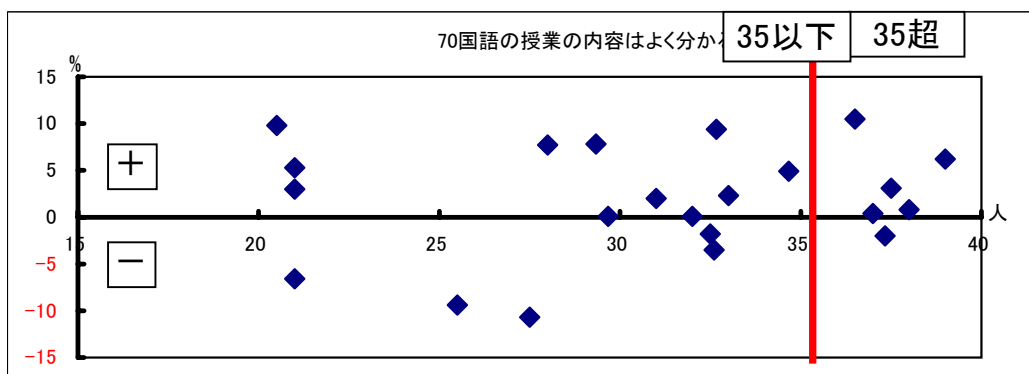
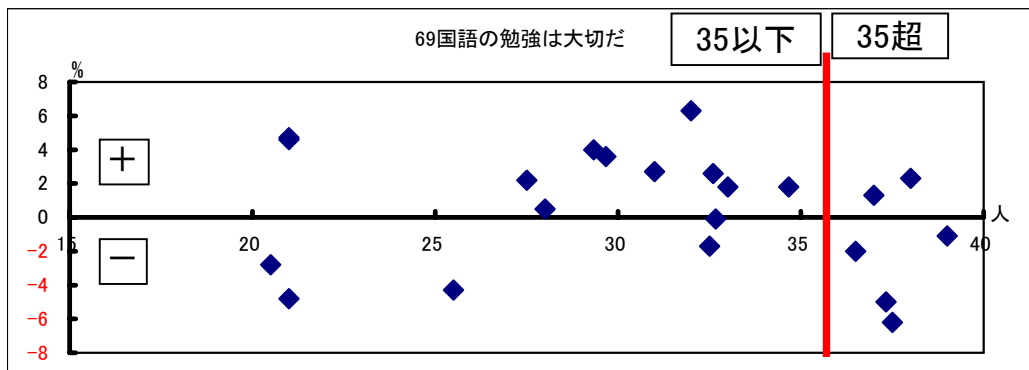
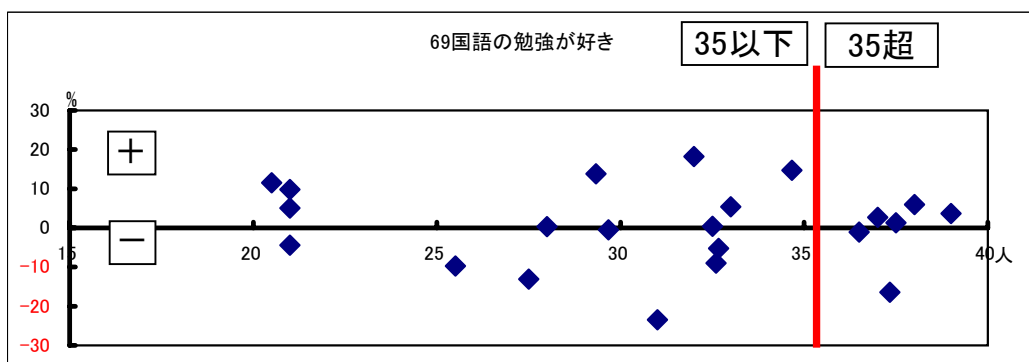
問題	判別	判別点で分けたときの分布				判別率	分布確率	相関係数	
	+-		+	-	計	割合	X=35		
64総合好き	35以下	A	14	2	16	0.88	86.4%	0.004	-0.39
	35超	B	1	5	6	0.17	☆	☆	
	+-		+	-	計	割合	X=35	0.004	
65総合発見	35以下	A	9	7	16	0.56	59.1%	0.318	-0.42
	35超	B	2	4	6	0.33			
	+-		+	-	計	割合	X=35	0.003	
66役立つ	35以下	A	12	4	16	0.75	81.8%	0.003	-0.49
	35超	B	0	6	6	0.00	◎	☆	
	+-		+	-	計	割合	X=35	0.003	
67総合他教科	35以下	A	12	4	16	0.75	81.8%	0.003	-0.34
	35超	B	0	6	6	0.00	◎	☆	
	+-		+	-	計	割合	X=35	0.003	

「総合的な学習の時間に対する関心・意欲・態度」面の特徴
 ○総合的な学習に対する関心・意欲・態度において顕著な差がみられた。いずれも、35人を超すと、「-」になり、20人程度の人数になると「+」になる傾向があった。
 結論：総合的な学習に対する、それぞれの質問のいずれかに差がみられる傾向があった。分布の確率も統計的に有意な差(1%水準)を示した。このことは、「自分で問題をみつけ、解決する」という探究的・問題解決的な学習における少人数学級の効果を示唆している。



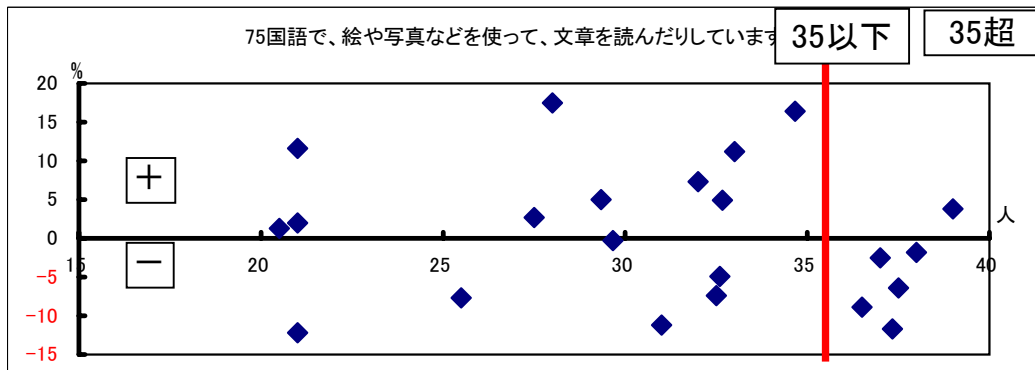
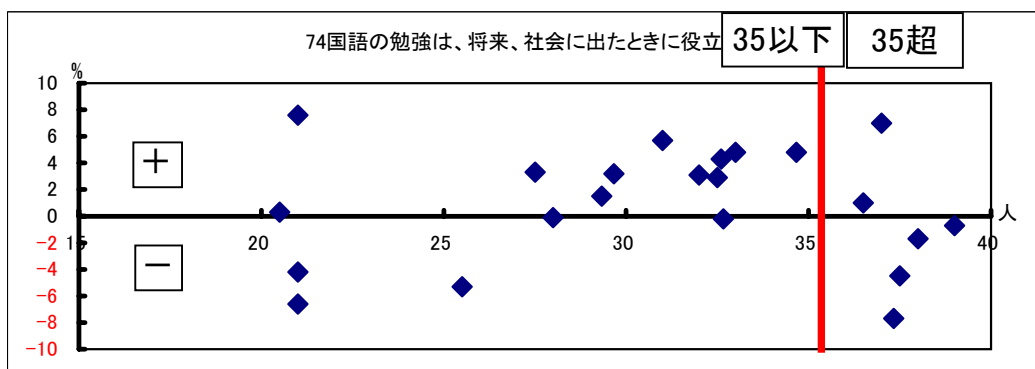
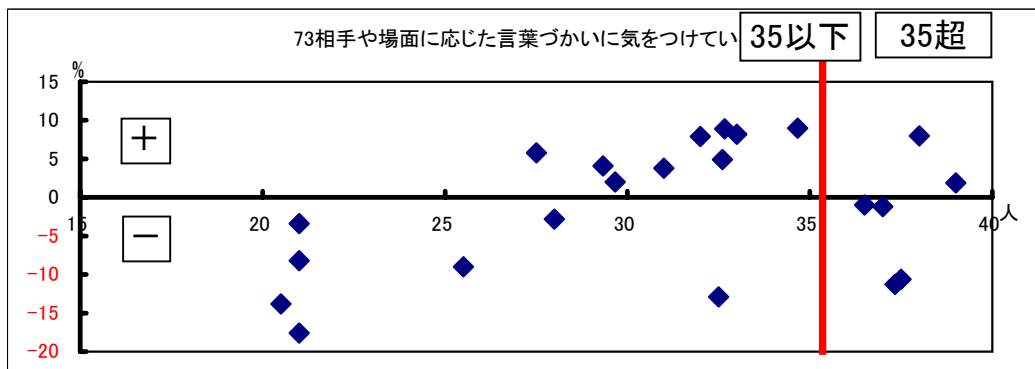
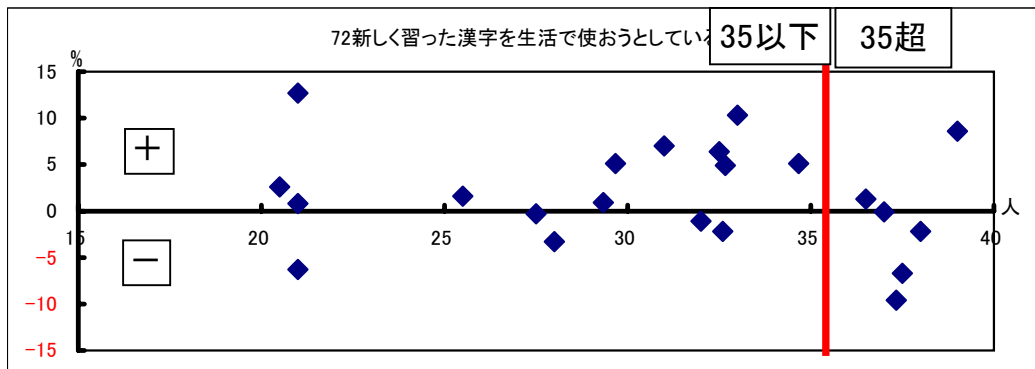
【国語に対する関心・意欲・態度①】

問題	判別	判別点で分けたときの分布					判別率	分布確率	相関係数	「国語に対する関心・意欲・態度」面の特徴 ○35人を境にして、大きな差はみられないが、「69国語の勉強は大切だ」「72漢字を使おうとしている」「75絵や写真を使って」などの質問でやや差がみられた。特に、「75絵や写真」は、分布の確率でも有意な傾向があった。なお、「76司会をすることがある」は、20程度の学級において全て「+」となっており、少人数における司会等の役割が多くなることを示す結果と言える。
		+	-	計	割合	X=35				
68国語好き	35以下	A	9	7	16	0.56	50.0%	0.523	-0.08	
	35超	B	4	2	6	0.67				
69国語大切だ	35以下	A	11	5	16	0.69	68.2%	0.1778	-0.14	
	35超	B	2	4	6	0.33				
70国語よく分かる	35以下	A	9	7	16	0.56	54.5%	1.0000	0.13	
	35超	B	3	3	6	0.50				
71国語読書	35以下	A	7	9	16	0.44	45.5%	1.0000	0.16	
	35超	B	3	3	6	0.50				



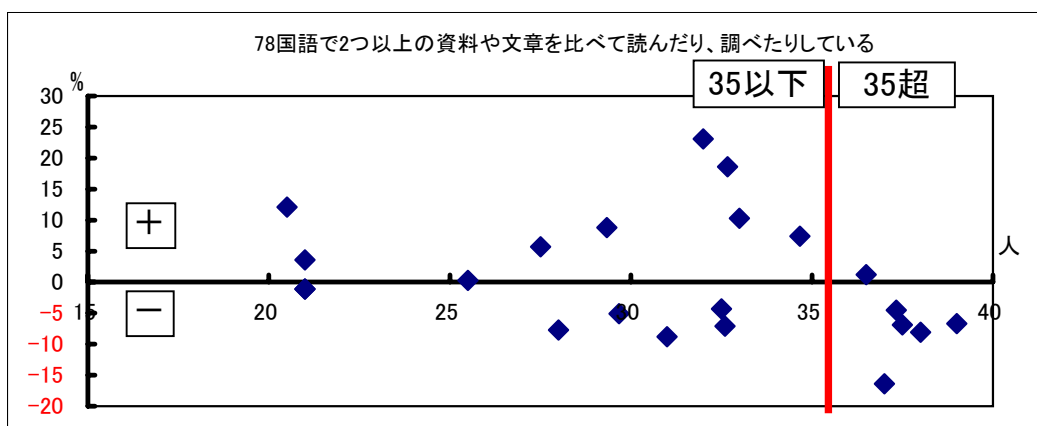
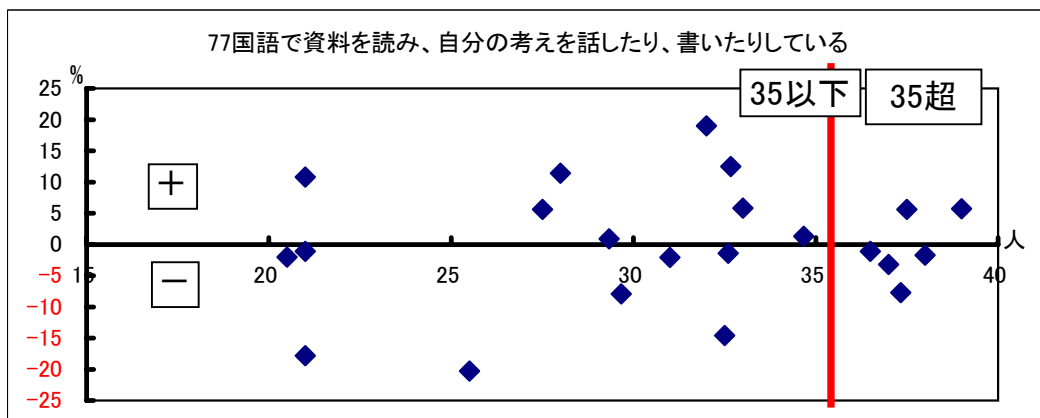
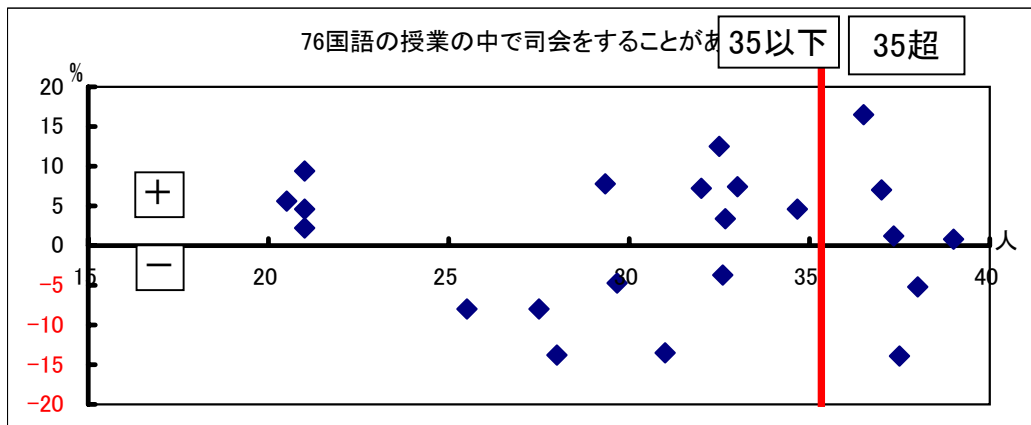
【国語に対する関心・意欲・態度②】

問題	判別	判別点で分けたときの分布				判別率	分布確率	相関係数	
72国語	十一		+	-	計	割合	X=35	0.1778	-0.13
漢字をしよう	35以下	A	11	5	16	0.69	68.2%	0.1548	
	35超	B	2	4	6	0.33	○		
73国語	十一		+	-	計	割合	X=35	0.6351	0.41
言葉遣い	35以下	A	9	7	16	0.56	59.1%	0.3176	
	35超	B	2	4	6	0.33			
74国語	十一		+	-	計	割合	X=35	0.3476	0.07
将来役立つ	35以下	A	10	6	16	0.63	63.6%	0.2291	
	35超	B	2	4	6	0.33			
75国語	十一		+	-	計	割合	X=35	0.1486	-0.12
絵や写真	35以下	A	10	6	16	0.63	68.2%	0.0743	
	35超	B	1	5	6	0.17	○	○	



【国語に対する関心・意欲・態度③】

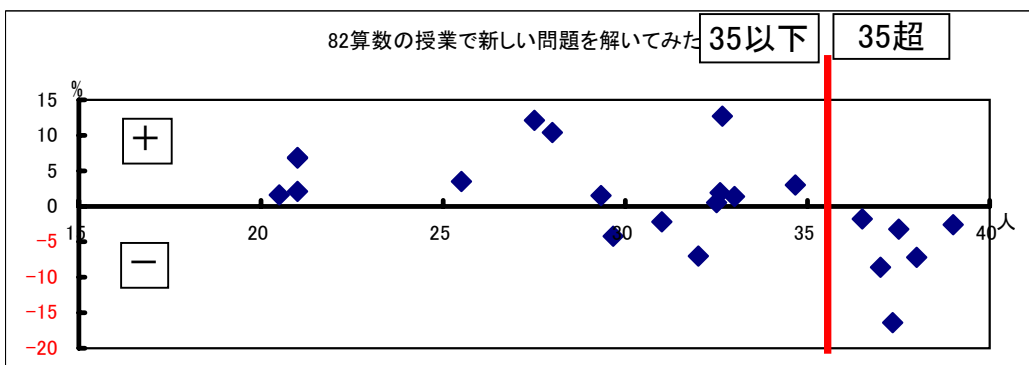
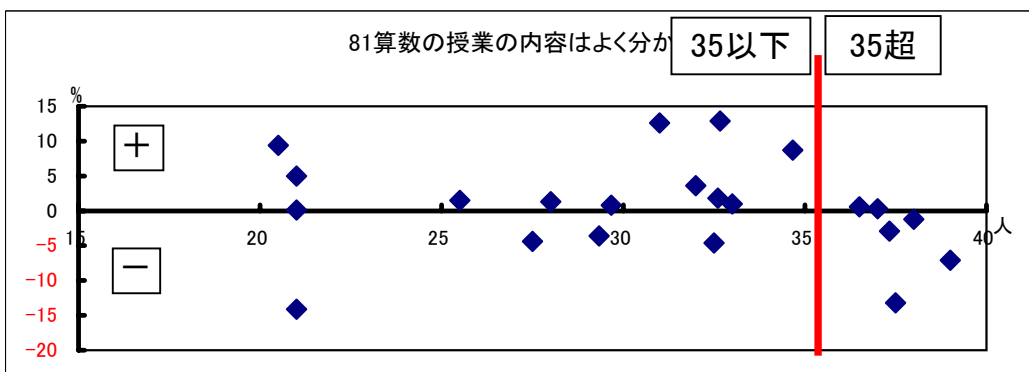
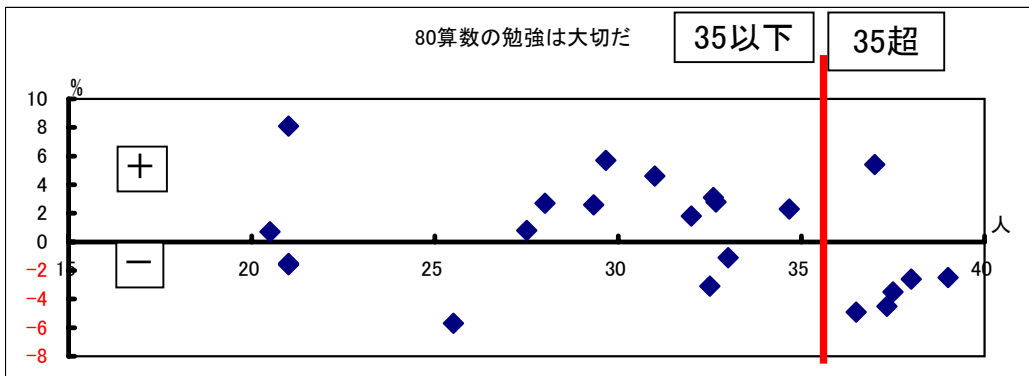
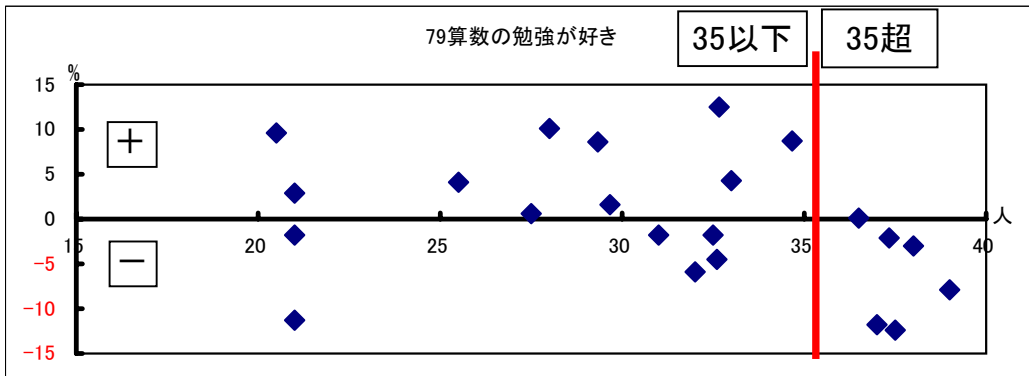
問題	判別	判別点で分けたときの分布				判別率	分布確率	相関係数	
76国語	十一		+	-	計	割合	X=35	1.0000	
司会をする	35以下	A	10	6	16	0.63	54.5%	0.6305	-0.03
	35超	B	4	2	6	0.67			
77国語	十一		+	-	計	割合	X=35	0.6462	
自分の考え	35以下	A	8	8	16	0.50	54.5%	0.4171	0.16
	35超	B	2	4	6	0.33			
78国語	十一		+	-	計	割合	X=35	0.1619	
資料や文章	35以下	A	9	7	16	0.56	63.6%	0.1185	-0.27
	35超	B	1	5	6	0.17			



【算数に対する関心・意欲・態度①】

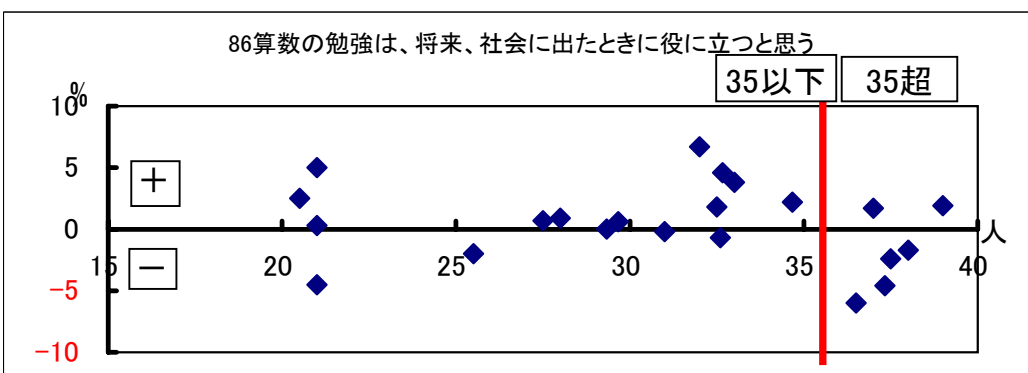
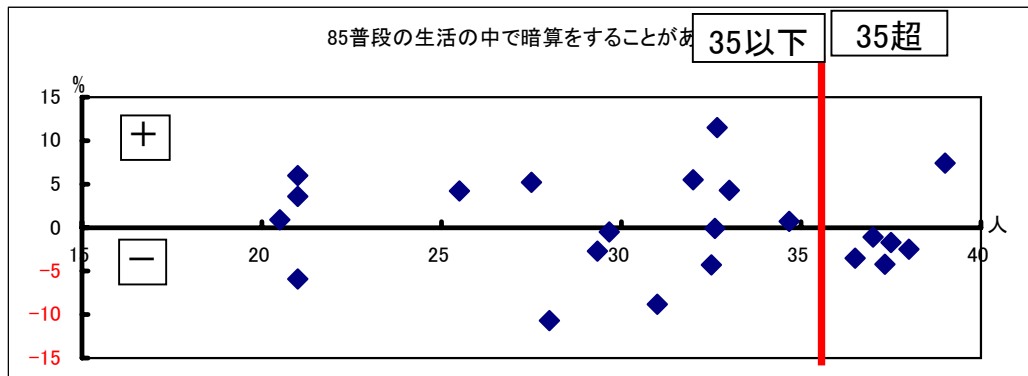
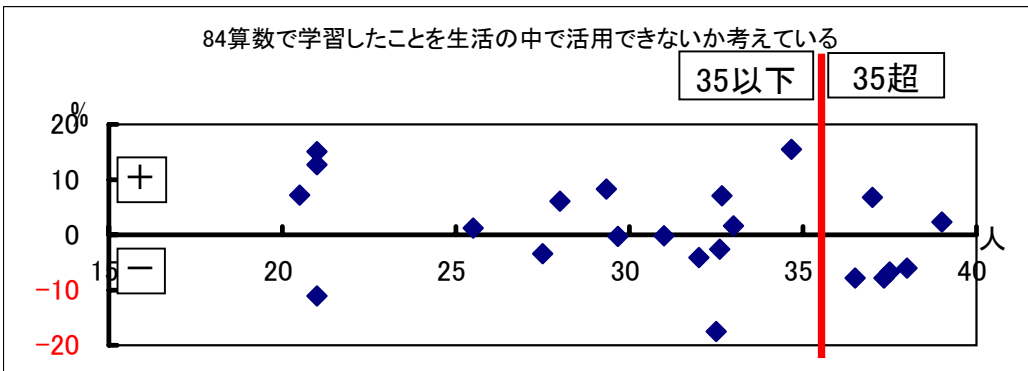
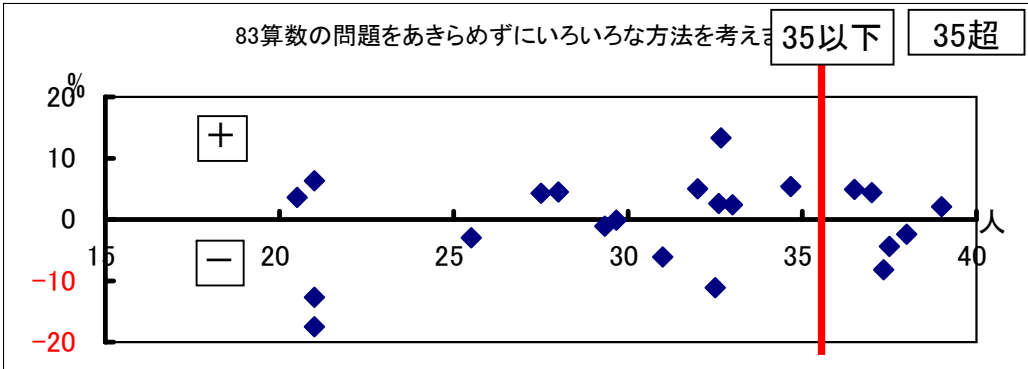
問題	判別	判別点で分けたときの分布				判別率	分布確率	相関係数	
79算数	+-		+	-	計	割合	X=35	0.1486	-0.30
好き	35以下	A	10	6	16	0.63	68.2%	0.0743	
	35超	B	1	5	6	0.17	○	○	
80算数	+-		+	-	計	割合	X=35	0.0557	-0.25
大切だ	35以下	A	11	5	16	0.69	72.7%	0.0433	
	35超	B	1	5	6	0.17	○	◎	
81算数	+-		+	-	計	割合	X=35	0.1365	-0.12
よく分かる	35以下	A	12	4	16	0.75	72.7%	0.0963	
	35超	B	2	4	6	0.33	○	○	
82算数	+-		+	-	計	割合	X=35	0.0011	-0.55
解いてみたい	35以下	A	13	3	16	0.81	86.4%	0.0011	
	35超	B	0	6	6	0.00	☆	◎	

「算数に対する関心・意欲・態度」面の特徴
 ○35人を境にして、大きな差がみられた。
 35人を超えると、「好き」「大切だ」「よく分かる」「解いてみたい」「将来役に立つ」などで「-」の傾向があった。これら算数に対する興味・関心・意欲、及び理解における心情面の形成が35人を境に差がみられる結果となった。分布の確率も10%程度から1%程度の水準で有意であった。一方、「いろいろな方法」「活用できるか」「暗算をする」等算数の心情的側面ではなく、実際場面での適応においては、大きな差はみられなかった。



【算数に対する関心・意欲・態度②】

問題	判別	判別点で分けたときの分布					判別率	分布確率	相関係数
83算数	+-		+	-	計	割合	X=35	1.0000	
いろいろな方法	35以下	A	9	7	16	0.56	54.5%	0.5829	0.22
	35超	B	3	3	6	0.50			
84算数	+-		+	-	計	割合	X=35	0.6351	
活用できるか	35以下	A	9	7	16	0.56	59.1%	0.3176	-0.32
	35超	B	2	4	6	0.33			
85算数	+-		+	-	計	割合	X=35	0.1619	
暗算をする	35以下	A	9	7	16	0.56	63.6%	0.1185	-0.06
	35超	B	1	5	6	0.17			
86算数	+-		+	-	計	割合	X=35	0.1365	
将来役立つ	35以下	A	12	4	16	0.75	72.7%	0.0963	-0.15
	35超	B	2	4	6	0.33			



領域	No.	質問内容	判別率	分布確率	相関係数	判定
基本的な生活習慣	1	朝食を毎日食べていますか				
	2	学校に持って行くものを確かめていますか				
	3	身の回りのことは、できるだけ自分でしていますか				
	4	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか				
	5	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか				
	6	勉強する時間を自分で決めて実行していますか				
	7	テレビを見る時間ルール家の人と決めていますか				
	8	遊んだり運動・スポーツをして体を動かしたりしていますか				
自尊心	9	最後までやりとげて、うれしかったことがありますか				
	10	失敗をおそれないで挑戦していますか			○	
	11	自分には、よいところがあると思いますか				
	12	将来の夢や目標を持っていますか				
起床就寝時刻	13	普段(月～金曜日)、何時ごろに起きますか				
	14	普段(月～金曜日)、家を出る何分くらい前に起きますか				
	15	普段(月～金曜日)、何時ごろに寝ますか				
	16	普段(月～金曜日)、1日にどれくらいの時間、睡眠をとることが最も多いですか				
TVゲーム・インターネット	17	普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか				
	18	普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームやインターネットをしますか				
	19	携帯電話で通話やメールをしていますか				
学習時間等	20	体育の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、運動・スポーツをしますか				
	21	学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか				
	22	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか				
	23	家や図書館で、普段(月～金曜日)、1日にどれくらいの時間、読書をしますか				
	24	学習塾(家庭教師を含む)で勉強をしていますか				
家庭でのコミュニケーション	25	家の人と普段、朝食を一緒に食べていますか				
	26	家の人と普段(月～金曜日)、夕食を一緒に食べていますか				
	27	家の人と学校での出来事について話をしていますか				
	28	家の人と一緒に運動・スポーツをしていますか	○			
家庭生活	29	家の手伝いをしていますか				
	30	食事をするときテレビを見ない				
	31	大人の人から注意されたことがありますか			○	
家庭学習	32	学校の宿題をしていますか				
	33	授業の予習をしていますか				
	34	授業の復習をしていますか				
	35	興味のあることについて調べたり、勉強したりしていますか	○	◎		○
学校生活	36	学校で友達に会うのは楽しいと思いますか				
	37	学校で好きな授業がありますか				
	38	学校で楽しみにしている活動がありますか	◎	◎	○	◎
社会に対する興味関心	39	ニュースに関心がありますか				
	40	世の中の出来事に関心がありますか				
	41	今住んでいる地域が好きですか	○			
	42	地域の歴史や自然について関心がありますか				
	43	地域の行事に参加していますか				

道徳的規範	44	学校のきまりを守っていますか				
	45	友達との約束を守っていますか				
	46	人が困っているときは助けていますか				
	47	近所の人にあいさつをしていますか	○		○	○
	48	人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか	○	○		○
	49	いじめは、どんな理由があってもいけないことだ	○			
	50	人の役に立つ人間になりたいと思いますか				
体験	51	海、山、湖、川などで遊んだことがありますか				
	52	魚や貝や昆虫をつかまえたことがありますか				
	53	生き物を飼育したことがありますか				
	54	花を咲かせたり、野菜を育てたりしたことがありますか				
	55	小さい子どもと遊んであげたりしたことがありますか				
	56	困っている人の手助けをしたことがありますか	○	○		○
	57	清掃活動へ参加したことがありますか				
	58	木材を使ったものづくりをしたことがありますか				
	59	包丁やナイフを使って調理をしたことがありますか				
	60	編み物や裁縫をしたことがありますか				
スポーツ関心	61	スポーツをすることが好きですか				
	62	スポーツを見るのが好きですか				
	63	スポーツをすることが得意ですか				
総合に対する関心	64	「総合的な学習の時間」の勉強は好きですか	☆	☆	-0.39	☆
	65	「総合」では新しいことを発見できると思いますか			○	
	66	「総合」は役に立つと思いますか	◎	☆	◎	☆
	67	「総合」で、ほかの教科の授業も分かりやすくなった	◎	☆	-0.34	◎
国語に対する関心意欲態度	68	国語の勉強は好きですか				
	69	国語の勉強は大切だと思いますか	○			
	70	国語の授業の内容はよく分かりますか				
	71	読書は好きですか				
	72	新しく習った漢字を生活で使おうとしていますか	○			
	73	言葉づかいに気を付けていますか				
	74	国語の授業将来、社会に出たときに役に立つ				
	75	国語で、絵や写真などを使って、文章を読んだりしていますか	○	○		○
	76	国語の授業の中で司会をすることがあります				
	77	国語で資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか				
78	国語で、2つ以上の資料や文章を比べて読んだり、調べたりしていますか					
算数に対する関心意欲態度	79	算数の勉強は好きですか	○	○	-0.30	○
	80	算数の勉強は大切だと思いますか	○	◎		○
	81	算数の授業の内容はよく分かりますか	○	○		
	82	算数の授業で新しい問題、それを解いてみたいと思いますか	☆	☆	○	☆
	83	算数の問題、あきらめずにいろいろな方法を考えますか				
	84	算数で学習したことを生活の中で活用できないか考えますか				
	85	普段の生活の中で暗算をすることがあります				
	86	算数将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	○	○		○

○：有意傾向がある（判別率：67%以上 分布確率： $.05 < p < .1$ 相関係数： $r > .4$ ）

◎：有意差がある（判別率：75%以上 分布確率： $p < .05$ 相関係数： $r > .6$ ）

☆：強い有意差がある（判別率：83%以上 分布確率： $p < .01$ 相関係数： $r > .8$ ）

(3) 35 人で分けたとき学級人数と関連のある内容 - 有意傾向のある内容 -

有意傾向が認められた内容は、以下のとおりである。

No.	質問内容	判別率	分布確率	相関係数	全体的判定
35	興味のあることについて調べたり、勉強したりしていますか	○	◎		○
38	学校で楽しみにしている活動がありますか	◎	◎	○	◎
47	近所の人にあいさつをしていますか	○		○	○
48	人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか	○	○		○
56	困っている人の手助けをしたことがありますか	○	○		○
64	「総合的な学習の時間」の勉強は好きですか	☆	☆	-0.39	☆
66	「総合」は役に立つと思いますか	◎	☆	◎	☆
67	「総合」で、ほかの教科の授業も分かりやすくなった	◎	☆	-0.34	◎
75	国語で、絵や写真などを使って文章を読んだりしていますか	○	○		○
79	算数の勉強は好きですか	○	○	-0.30	○
80	算数の勉強は大切だと思いますか	○	◎		○
81	算数の授業の内容はよく分かりますか	○	○		○
82	算数の授業で新しい問題、それを解いてみたいと思いますか	☆	☆	○	☆
86	算数は将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	○	○		○

相関係数の数値は、「有意傾向がある」とした 0.4 に近い数値のため掲載。

これら 14 項目の質問内容を学級人数と関連付けると、次のような考察が可能である。

領域でみた場合、「総合的な学習の時間」関連の質問内容に強い有意差がみられた。

平成 14 年度から完全実施された「総合的な学習の時間」は、次のねらいをもって設置されている。

- ・ 自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てること
- ・ 学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにすること
- ・ 各教科、道徳及び特別活動で身に付けた知識や技能等を相互に関連付け、学習や生活において生かし、それらが総合的に働くようにすること

端的に言えば、これからの変化の激しい社会の中でも遅く生きる問題解決力の育成を図ることを主眼に「総合的な学習の時間」が設置され、単なる知識の習得ではなく、問題解決的・探究的な学習を主たる内容とするものである。

このような内容であるので、一人一人の問題意識に対応した学習が要求される。つまり、多人数への対応は、他教科以上に難しいと言える。

今回の調査によって、35 人を超えると、「総合が好き」、「総合は普段の生活や社会に出たときに役に立つ」、「総合の学習によって他教科の授業も分かりやすくなった」などの内

容を肯定する割合が低くなる傾向があった。35人を超えると、一人一人への対応がしにくい状況が、今回の調査でも裏付けられたと言える。そして、総合で培われる「自ら問題を見つけ、解決する」力（新学習指導要領で言えば、「探究」する力）が、「家でも興味のあることを調べたり、勉強したりしている」状況につながり、「国語で絵や写真を使って文章を読んでいる」にみられるように、体験を通じた調査によって、他教科においても単なる文字情報の摂取に止まらず情報を関連付けて捉えるような学びへと広がっている。

このことは、これからの学力を示す PISA 型読解力とも関連した内容であり、35人学級は、単なる国語や算数・数学の定着を図るのに効果があるだけでなく、今後の「学力」を育成するのに適していることを示唆している。また、同時に、子どもたち自身が、「総合」で示される活動や内容である「探究」、「他教科と関連付けた総合的な学び」、「探究活動の過程での調べ学習」等のイメージを肯定的に捉え、それが自分の学びにとって役に立ち、家でも学びが継続している様子が伺えるのである。

これらは、単なる結果としての学習内容の定着では示されない学びの広がりや深まり、さらに、学習に対する関心意欲態度の形成につながる内容であり、学校で培う、まさに学校の目標に向けた内容を含んでいる。その結果、「学校で楽しみにしている活動がある」と回答するのではないだろうか。

自ら問題を見つけ、解決する自発的な学習の在り方での効果とともに、注目すべきことは、道徳的規範の中でも、「あいさつをしている」、「人の気持ちの分かる人間になりたい」、「困っている人を助けたい」など、他者に向けた肯定的な気持ち、すなわち、他者への配慮、優しさが、35人を境に変わることである。

これらの内容は、表面的な人間関係から一步踏み込もうとする行為・行動を伴う方向付けを問うものである。つまり、その他大勢という人間関係から、「わたしとあなた、われと汝」の関係へ進む意識の高まりがあるということである。学級での、より親密な人間関係の中で育まれる意識の高まりが伺われるのである。

なお、算数に対する肯定的なイメージは、国語に比べ、少人数学級を前提に、さらに、少人数指導を実施している実態、つまり、より以上の少人数学習の中で、一人一人に対応した指導のしやすさが、「よく分かる」という内容理解面だけでなく、「解いてみたい」「将来役に立つ」などの意欲や学習に対する肯定感を導いていることが示唆される。

一方、有意傾向がみられなかった内容である「基本的生活習慣」「家庭での過ごし方」「体験」などは、学校で育成すべき内容というよりも、家庭生活の中で生まれ、学ばれる内容である。これらの内容で、学級人数の違いで有意差がみられなかったことは、裏返せば、「家庭」の重要性を強調し、「家庭の中でこそ培われるものがある」と広く啓発すべき内容と言える。

(4) まとめ

以上の結果から、35人学級は、単なる国語や算数・数学の定着を図るのに効果があるだけでなく、学習に対する関心・意欲・態度の形成につながる。それは、算数に対する意欲的態度や、自ら問題を見つけ解決する力（「探求」する力）をキーワードとする「総合的な学習の時間」に対する肯定的な結果、さらには、家でも学びが継続していることから伺える。

注目すべきことは、道徳的規範の中でも、「あいさつをしている」、「人の気持ちがわかる人間になりたい」、「困っている人を助けたい」など、他者に向けた肯定的な気持ち、すなわち、他者への配慮・優しさに関する内容が、35人を境に少ない方が肯定的に変わるという点である。これらの内容は、表面的な人間関係から一步踏み込もうとする行為・行動に伴う方向付けを問うものであり、少人数学級での、より親密な人間関係の中に育まれる意識の高まりが伺われる。

以上のような学習に対する関心・意欲・態度の形成や人間関係の親密さを背景に「学校で楽しみにしている活動がある」と回答する傾向が少人数学級ほど強まると結論付けられる。